

令和 5 年度（2023 年度） 長期モニタリング項目評価調書 資料集（案） （海域ワーキンググループ担当）

分類		モニタリング調査	実施主体	頁
①海洋環境	海氷	オホーツク海南部での海水面積の季節進行	柏瀬陽彦・大島慶一郎	1
		海氷域面積の長期変化傾向（オホーツク海）	気象庁	2
	水温	H26 年度(2014 年度) 北海道大学大学院水産科学院・修士論文	岡崎遼太郎	3
②魚介類	サケ類	令和 3 年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書	北海道森林管理局	5
		令和 4 年度(2022 年度)知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類モニタリング調査委託報告書	北海道	12
		令和 3 年度(2021 年度)知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類モニタリング調査委託報告書		15
	スルメイカ	令和 3 年度（2021 年度）資源評価報告書	水産庁	18
③海棲哺乳類	ゴマフアザラシ	羅臼海域での有害駆除個体調査	北の海の動物センター	22
		羅臼海域で混獲個体への発信機装着		24
		羅臼町峰浜地区における 4 月～6 月の刺網の混獲状況	小林委員	25
	トド	知床半島東岸におけるトドの越冬来遊状況	知床財団	26
④鳥類	海ワシ類	オオワシ・オジロワシの渡来数調査	知床財団	27
⑤地域社会	地域社会	斜里町及び羅臼町における漁業生産の経年変化	鳥澤 雅	28
		漁業センサス	農林水産省	29
		北海道漁船統計表	北海道	32
		令和 3 年度（2021 年度）知床国立公園適正利用等検討業務報告書	環境省	35
		斜里町各会計予算執行等の説明書	斜里町	39
		令和 3 年度（2021 年度）羅臼町資料編	羅臼町	
		斜里町分野別統計書	斜里町	
		令和 4 年度（2022 年度）知床世界遺産施設等運営協議会総会資料	環境省	42
		知床世界自然遺産地域における住民向け普及啓発講座開催補助業務報告書	環境省	43
		世界自然遺産・知床の日の取組	北海道	44

分類		モニタリング調査	調査実施主体
①海洋環境	海水	オホーツク海南部での海氷域面積の季節進行 (平成 18 年～平成 30 年 (2006 年～2018 年))	柏瀬陽彦 大島慶一郎

○オホーツク南部海氷面積（今後の更新は検討中。）

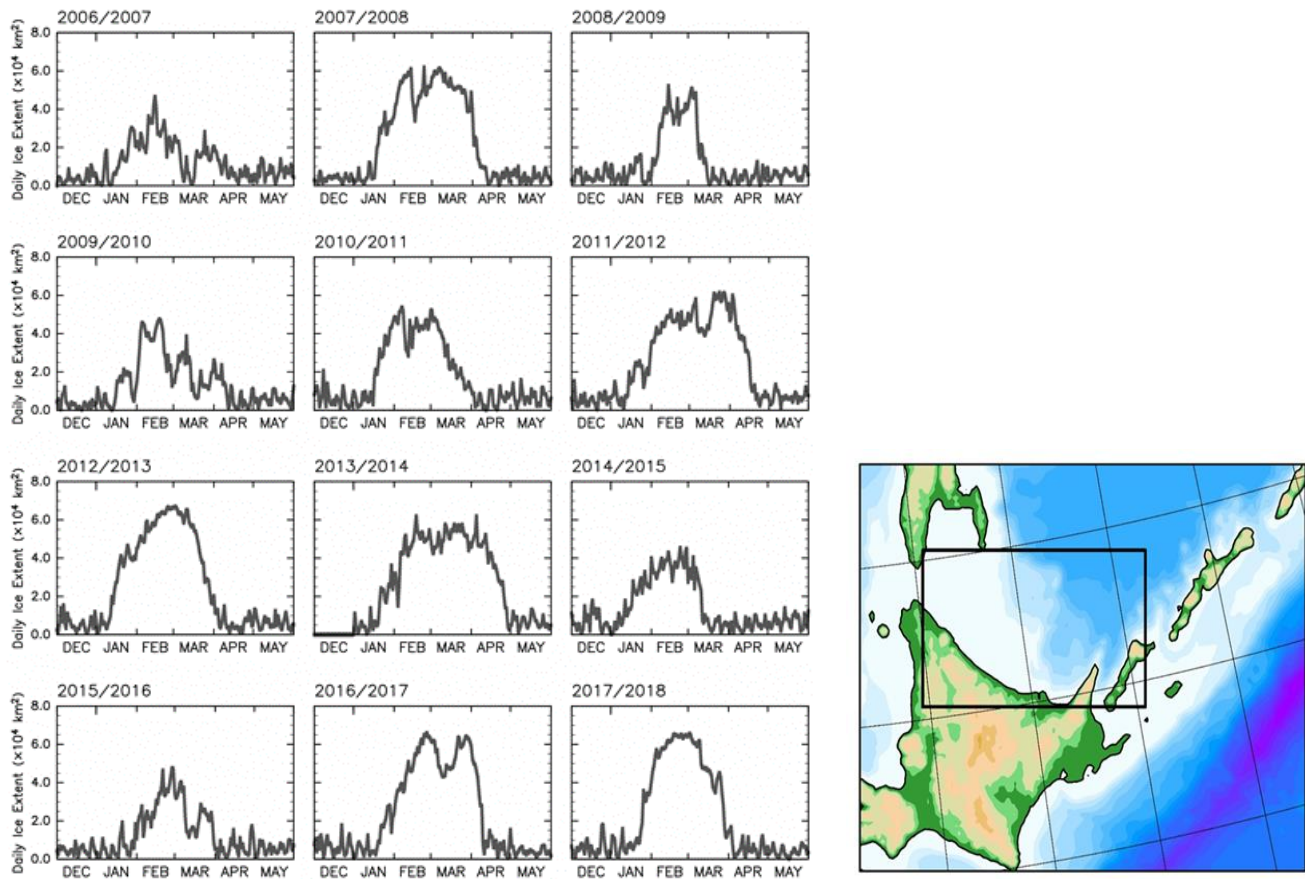


図1 オホーツク海南部（右図の黒枠内）での海氷域面積の季節進行(平成 18 年～平成 30 年 (2006 年～2018 年))

出典：National Snow and Ice Data Center 提供の Sea Ice Concentrations from Nimbus-7 SMMR and DMSP SSM/I-SSMIS Passive Microwave Data から算出

分類		モニタリング調査	調査実施主体
①海洋環境	海氷	海氷域面積の長期変化傾向（オホーツク海）	気象庁

○海氷域面積の長期変化傾向（オホーツク海）

最大海氷域面積

($\times 10^4 \text{km}^2$)

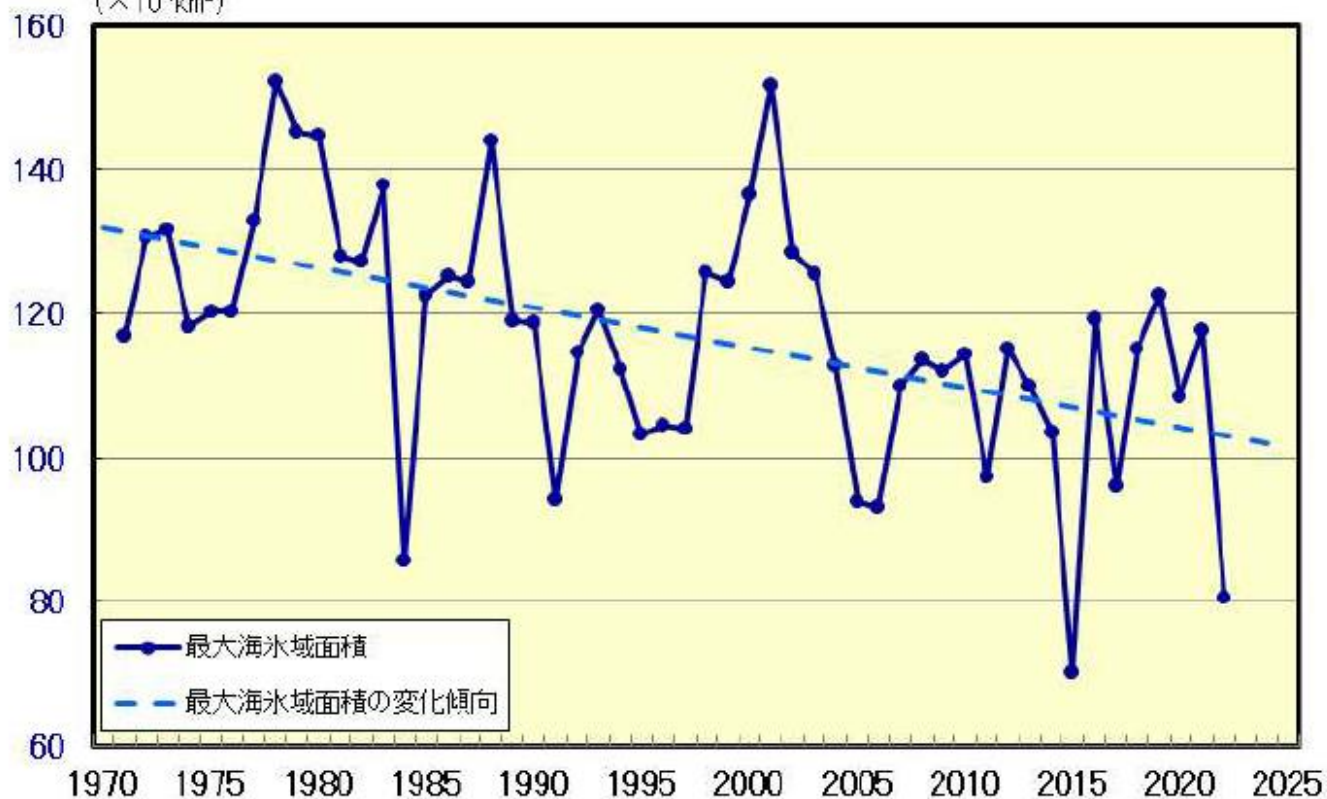


図1 オホーツク海の家氷域面積の経年変化(昭和46年～令和4年(1971年～2022年))

オホーツク海の家氷域面積(*1)は長期的に見ると減少しており、10年あたりオホーツク海の家全面積の3.5%の家氷域が消失している。

(*1) 海氷域が年間で最も拡大した半旬の家氷域面積。

出典：気象庁ウェブサイト

https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/shindan/a_1/series_okhotsk/series_okhotsk.html

分類		モニタリング調査	調査実施主体
① 海洋環境	水温	平成 26 年(2014 年)度 北海道大学大学院水産科 大学院・修士論文	岡崎遼太郎

○羅臼沿岸域※における水温の経年変化

※羅臼漁協の岬町ウニセンター（昭和 34 年～平成 23 年（1969 年～2011 年））と共栄町苗場（昭和 34 年～平成 11 年（1969 年～1999 年））の取水した海水の水温

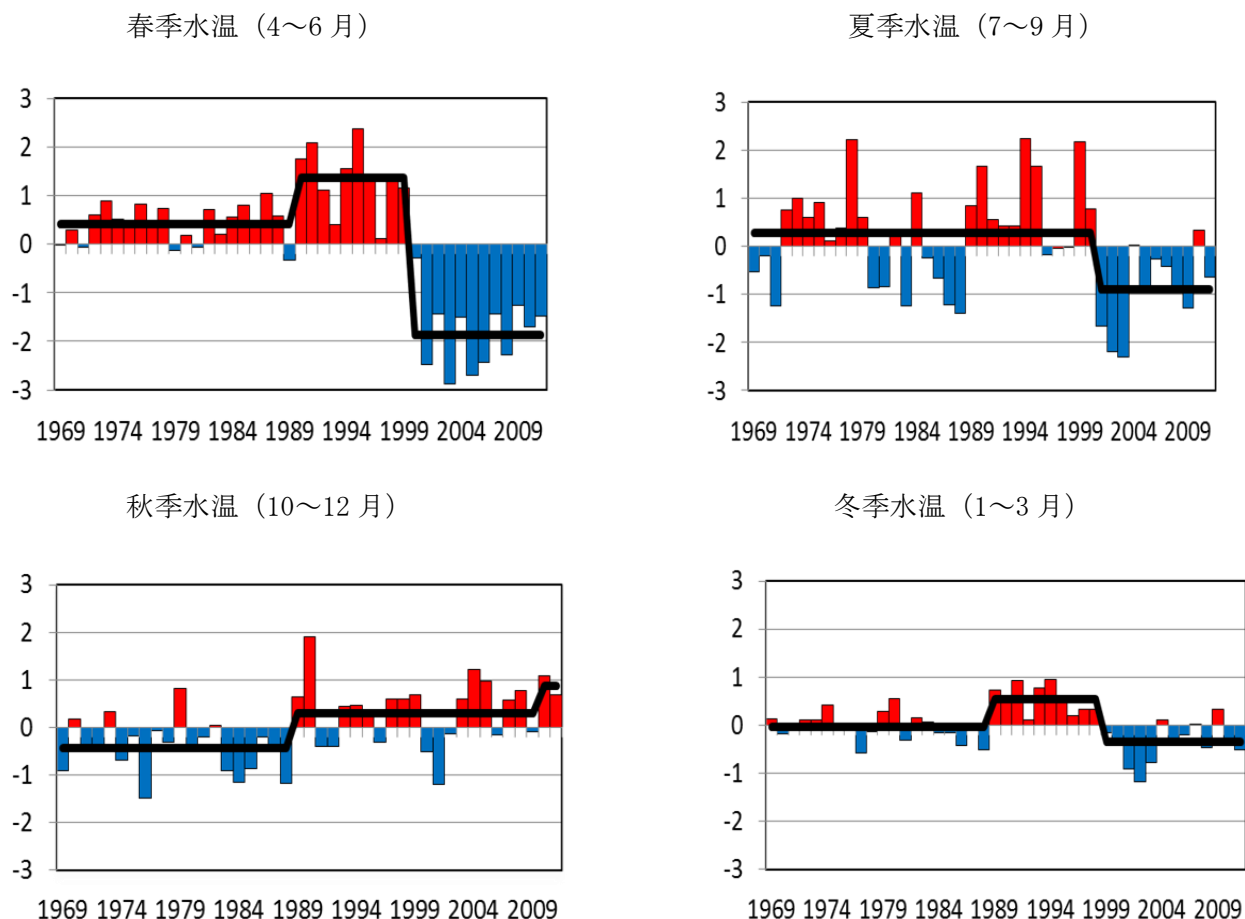


図 1 羅臼沿岸域における季節別水温偏差の推移

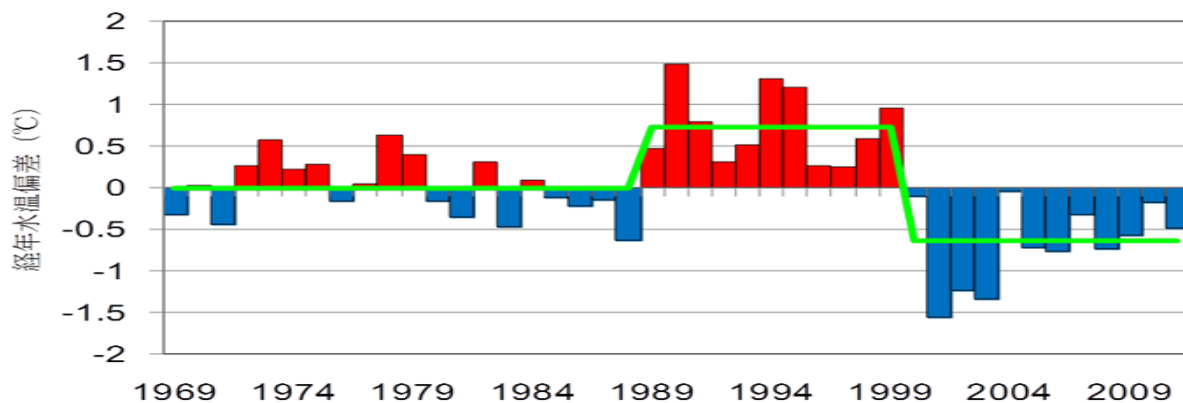


図 2 羅臼沿岸域における経年水温偏差

出典：岡崎遼太郎、北海道大学大学院水産科学院・修士論文、平成 26 年度(2014 年)

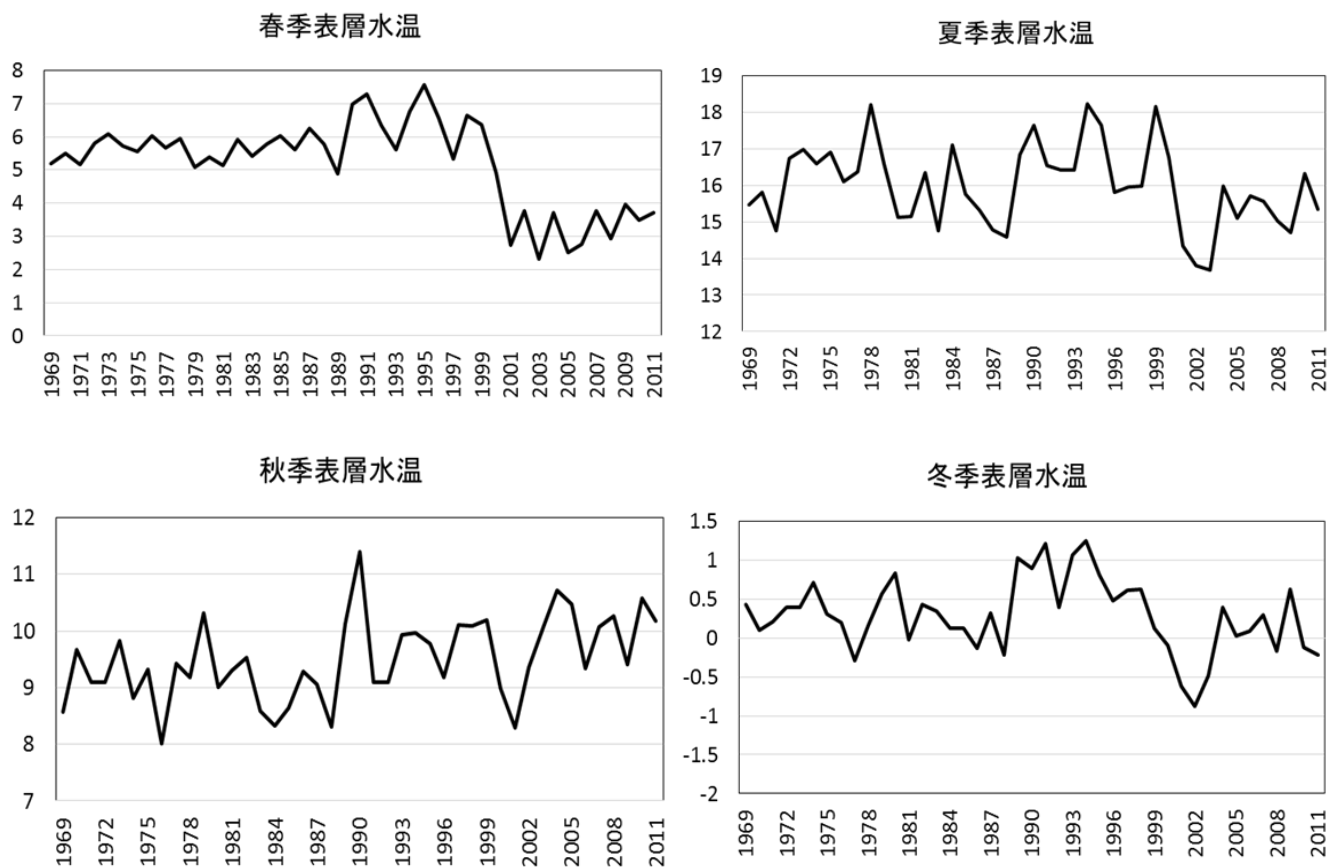


図3 羅臼沿岸域における季節別表層水温の推移①

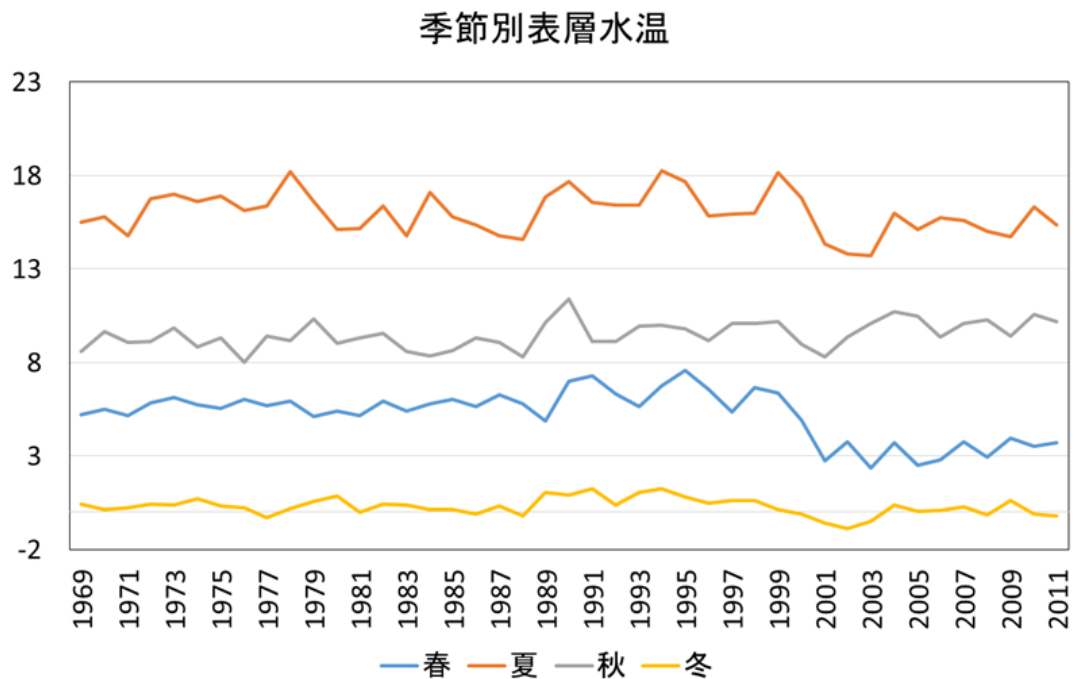


図4 羅臼沿岸域における季節別表層水温の推移②

出典：岡崎遼太郎、北海道大学大学院水産科学院・修士論文平成26年度(2014年度)

分類		モニタリング調査	調査実施主体
②魚介類	サケ類	知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書 ※奇数年調査	北海道森林管理局

○ルシャ川及びテッパンベツ川におけるカラフトマスの遡上数（令和3年（2021年））

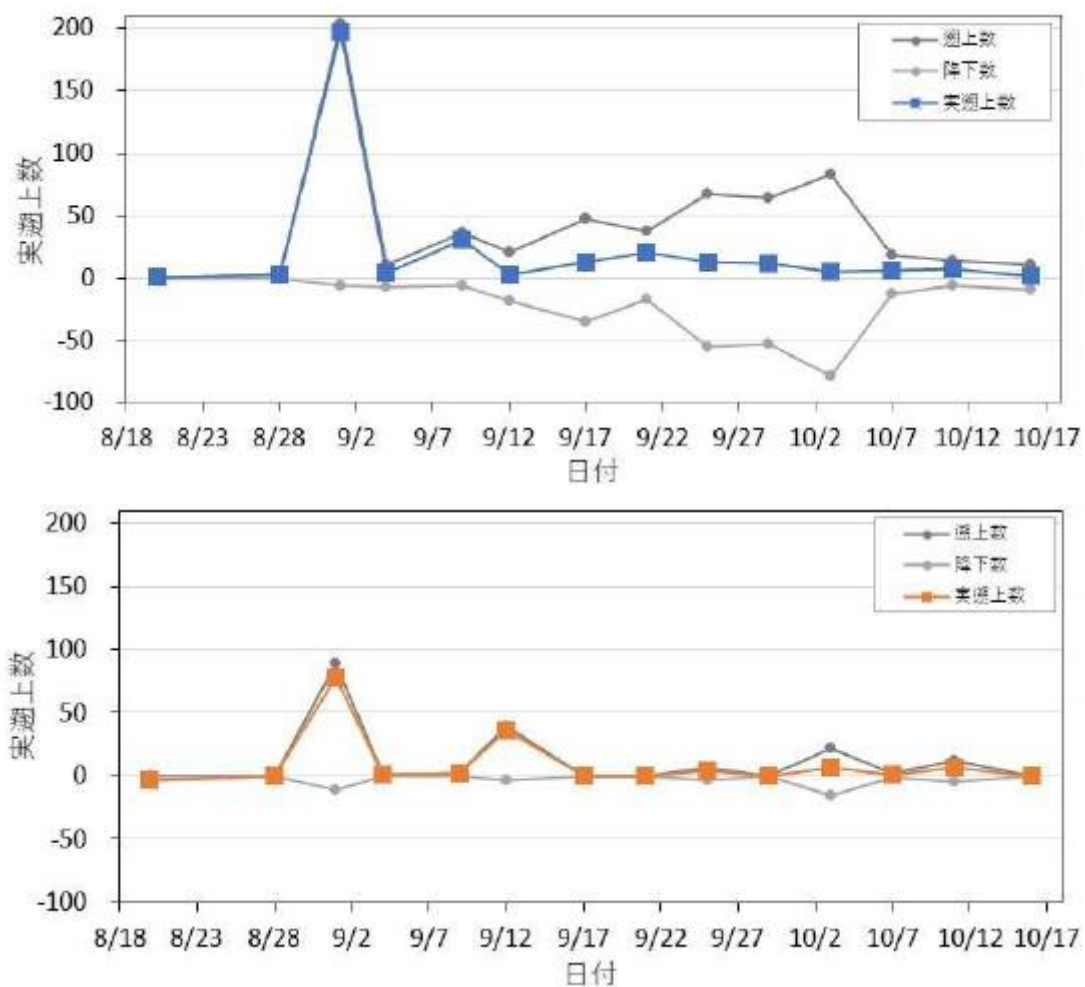


図1 ルシャ川（上）及びテッパンベツ川（下）における調査日ごとのカラフトマスの遡上数、降下数及び実遡上数（遡上数－降下数）の推移

それぞれ、8～16時台の2時間毎に20分間で目視によりカウントされたカラフトマスの移動数の合計値

出典：北海道森林管理局「令和3年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

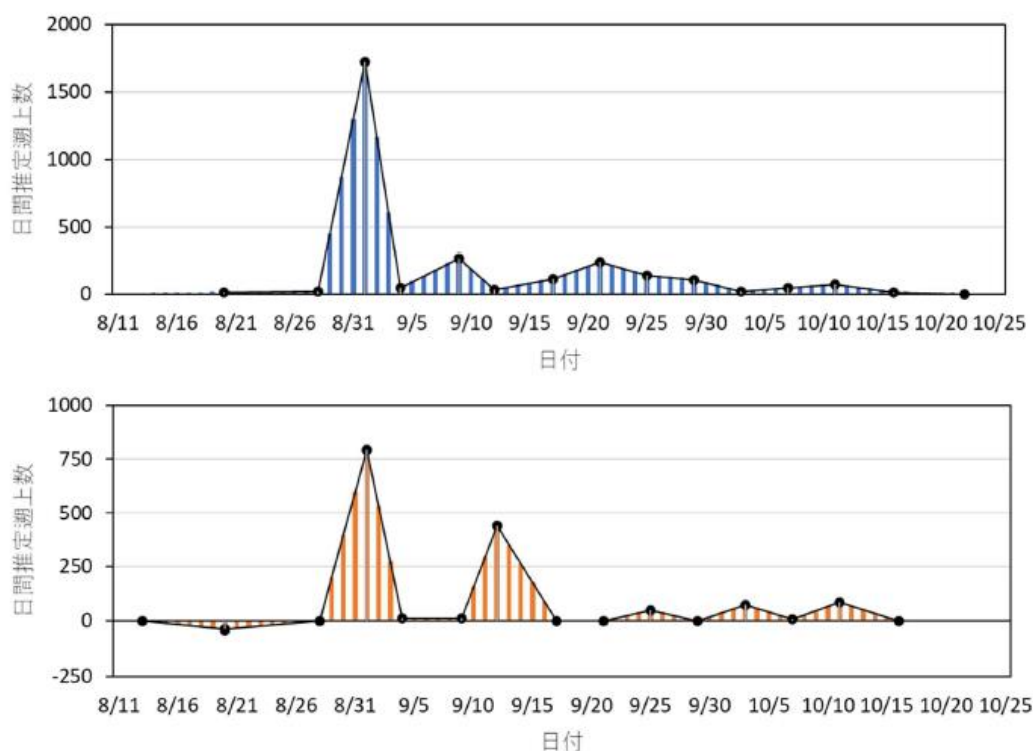


図2 ルシャ川（上）及びテップンベツ川（下）における台形近似法（AUC法）により推定されたカラフトマスの日別の遡上数

出典：北海道森林管理局「令和3年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

年	ルシャ川			テップンベツ川			調査実施主体	
	推定遡上数	標準誤差	95%信頼区間	推定遡上数	標準誤差	95%信頼区間		
H18	2006	58,000	-	31,000~82,000	-	-	-	横山ほか（2010）
H19	2007	36,000	-	19,000~49,000	-	-	-	横山ほか（2010）
H20	2008	10,000	-	7,000~21,000	-	-	-	横山ほか（2010）
H21	2009	-	-	-	-	-	-	-
H22	2010	-	-	-	-	-	-	-
H23	2011	-	-	-	-	-	-	-
H24	2012	19,905	2,885	14,386~25,810	3,369	570	2,307~4,550	北海道森林管理局
H25	2013	58,236	6,366	46,044~70,856	43,332	6,558	31,224~56,666	北海道森林管理局
H26	2014	-	-	-	-	-	-	-
H27	2015	4,287	502	3,319~5,266	1,860	222	1,341~2,210	北海道森林管理局
H28	2016	-	-	-	-	-	-	-
H29	2017	10,737	1,007	9,071~13,097	2,241	286	1,737~2,880	北海道森林管理局
H30	2018	-	-	-	-	-	-	-
H31(R1)	2019	11,838	2,047	7,934~15,930	8,052	1,481	5,369~11,128	北海道森林管理局
R2	2020	66,330	17,937	27,448~97,113	20,643	4,924	9,803~28,914	環境省推進費事業
R3	2021	10,686	2,346	5,201~14,359	5,232	1,292	2,773~7,831	本調査

表1 これまでのルシャ川及びテップンベツ川におけるカラフトマスの推定遡上数及び調査の実施主体

出典：北海道森林管理局「令和3年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

○ルシャ川及びテッパンベツ川におけるカラフトマスの産卵床数（令和３年（2021年））

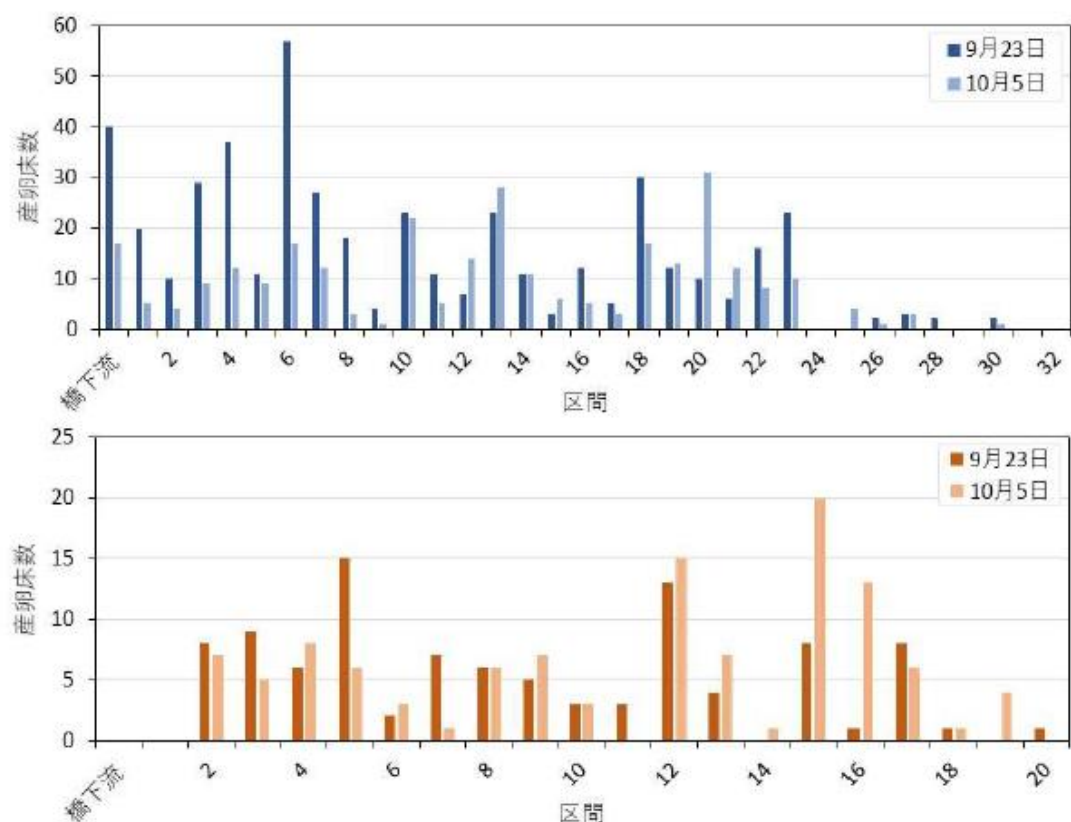


図3 ルシャ川（上）とテッパンベツ川（下）におけるカラフトマスの調査日別、区間別産卵床数
出典：北海道森林管理局「令和３年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

年		ルシャ川				テッパンベツ川			
		1回目		2回目		1回目		2回目	
		産卵床数	密度	産卵床数	密度	産卵床数	密度	産卵床数	密度
H24	2012	326	0.010	379	0.011	115	0.006	273	0.015
H25	2013	1,469	0.043	2,115	0.058	1,052	0.059	1,470	0.083
H26	2014	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	2015	259	0.006	134	0.003	160	0.008	69	0.003
H28	2016	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	2017	307	0.009	348	0.010	190	0.010	211	0.011
H30	2018	682	0.019	536	0.015	-	-	-	-
H31(R1)	2019	728	0.021	574	0.017	187	0.012	249	0.017
R3	2021	454	0.014	283	0.008	100	0.006	113	0.007

表2 ルシャ川及びテッパンベツ川における調査実施年の産卵床数及び産卵床密度
（太字は各年の産卵床数の多い方を示す、2018年は知床財団が独自にルシャ川のみ調査）
出典：北海道森林管理局「令和３年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

○ルシャ川におけるカラフトマス稚魚の降下数（令和3年（2021年））

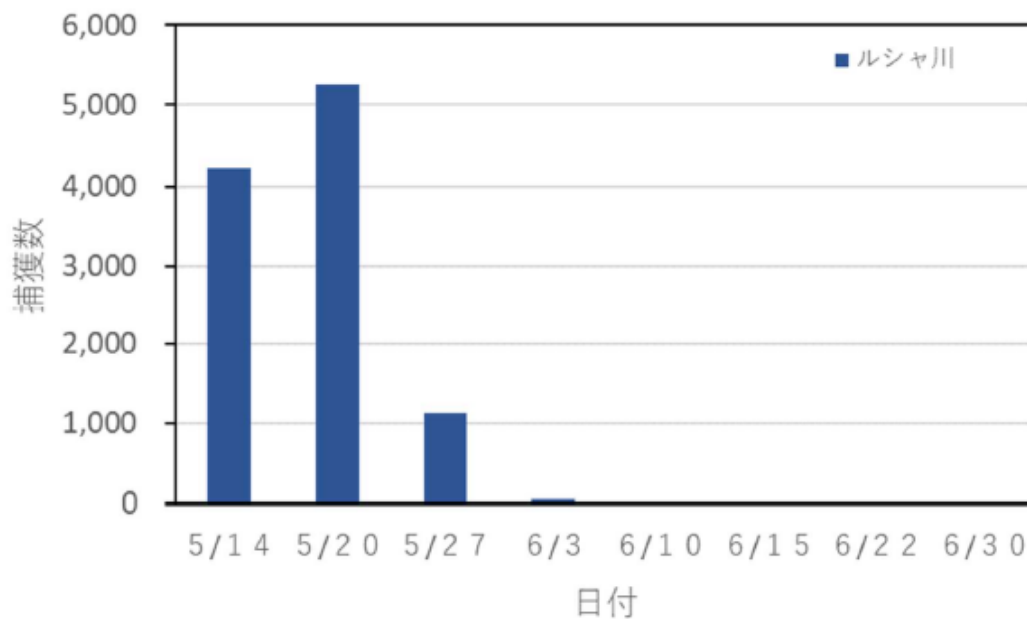


図4 ルシャ川の調査日ごとのカラフトマス稚魚捕獲数（1時間あたりの稚魚数の日間合計値）
出典：北海道森林管理局「令和3年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

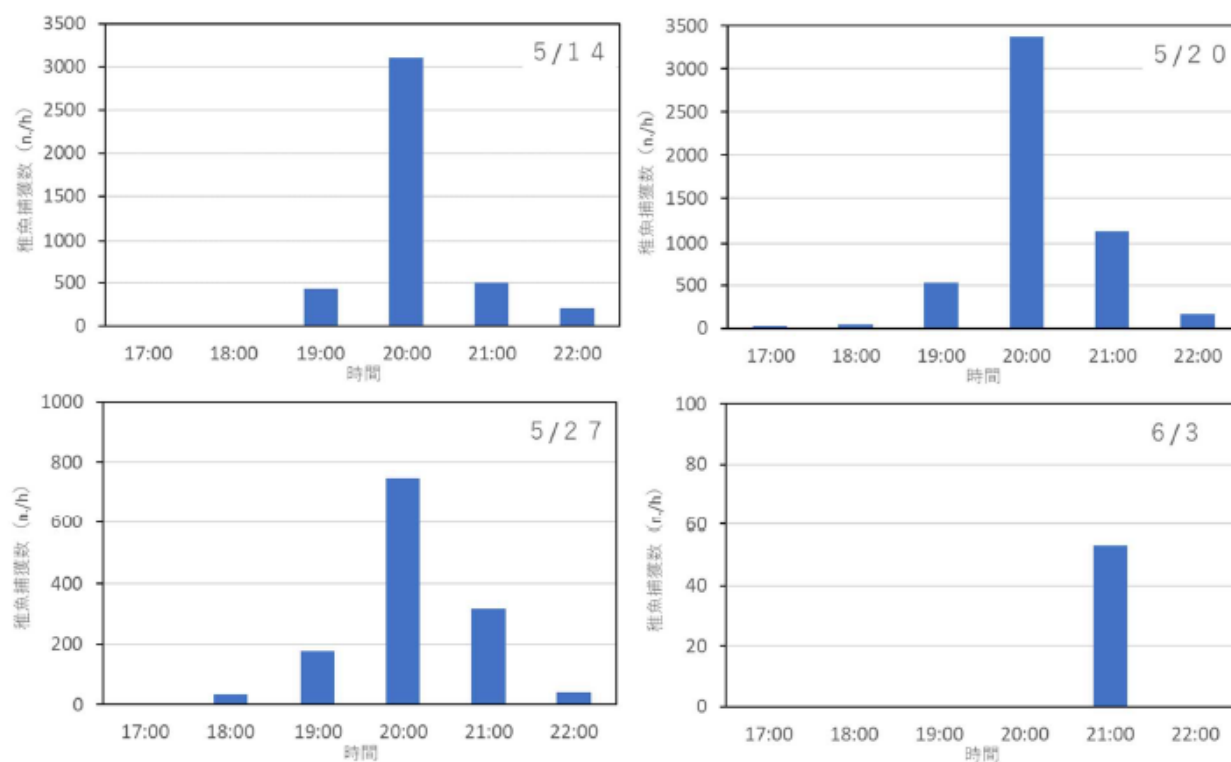


図5 ルシャ川の調査日ごとの調査時間帯別カラフトマス稚魚の捕獲数（1時間あたり）
出典：北海道森林管理局「令和3年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

○テッパンベツ川におけるカラフトマス稚魚の降下数（令和３年（2021年））

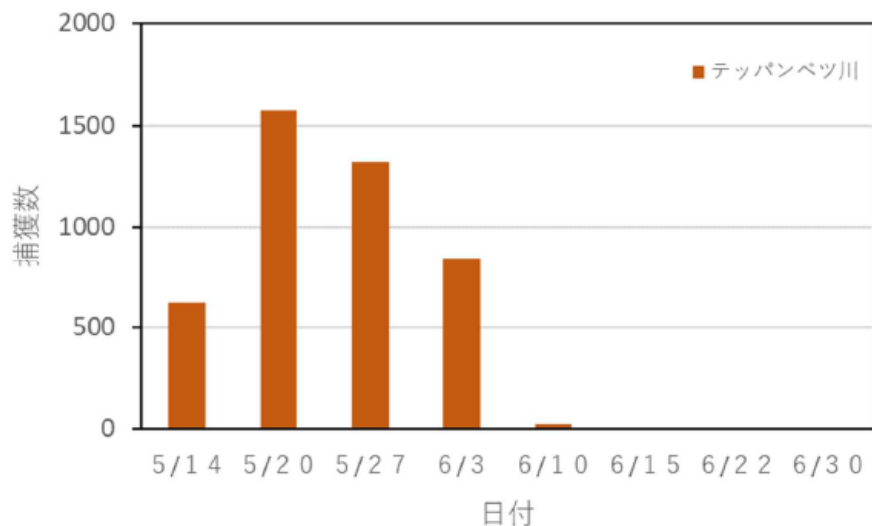


図6 テッパンベツ川の調査日ごとのカラフトマス稚魚捕獲数（1時間あたりの稚魚数の日間合計値）

出典：北海道森林管理局「令和３年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

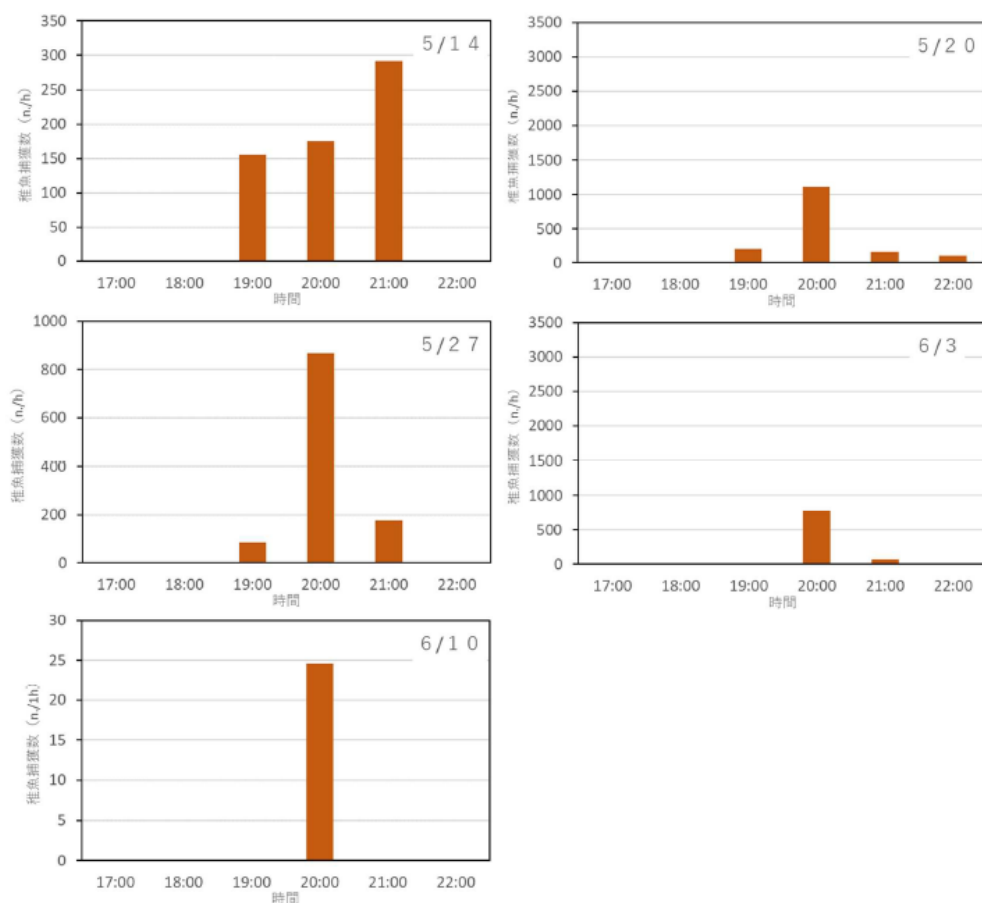


図7 テッパンベツ川におけるカラフトマスの調査日別、調査時間帯別の稚魚捕獲数

出典：北海道森林管理局「令和３年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

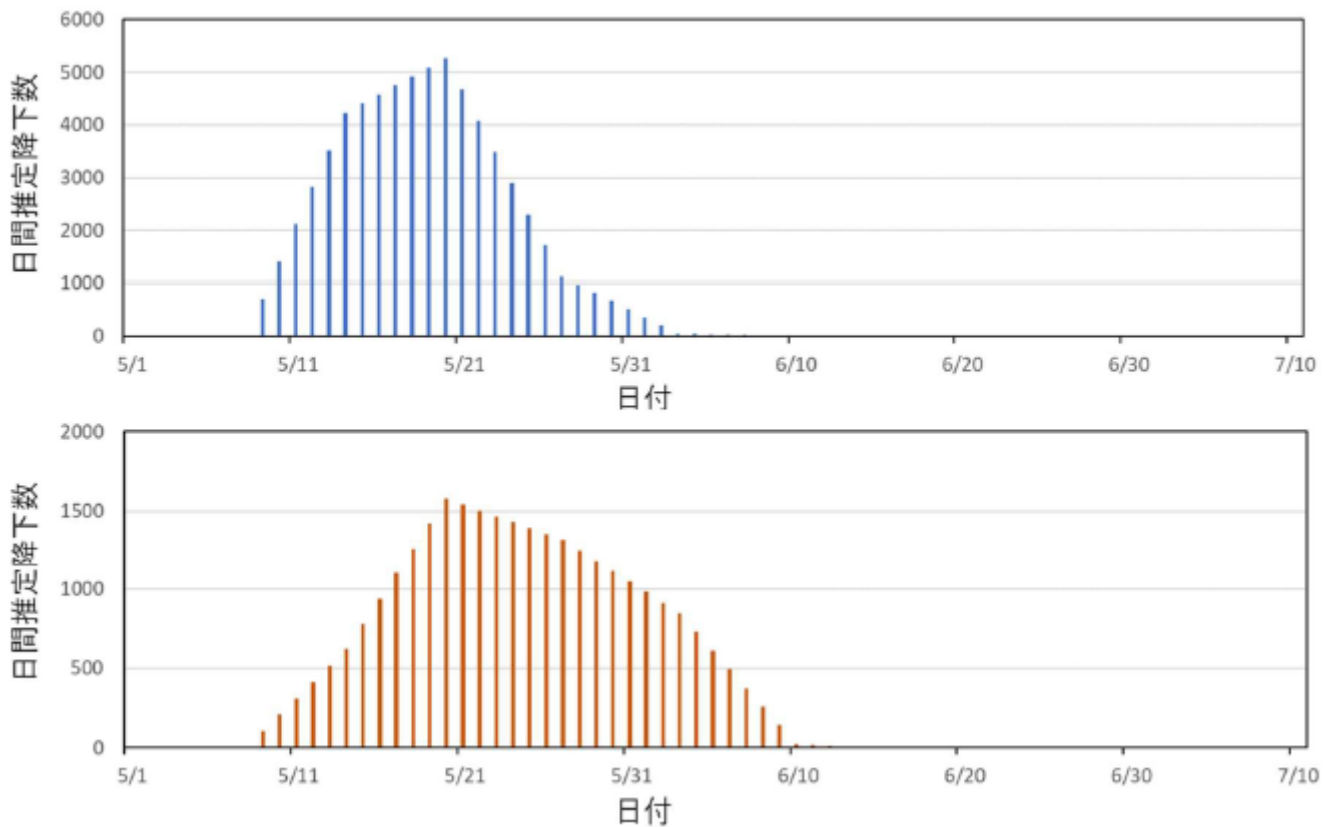


図8 ルシャ川（上）及びテッパンベツ川（下）におけるカラフトマスの日別推定稚魚降下数
出典：北海道森林管理局「令和3年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

		ルシャ川		テッパンベツ川	
		親魚遡上数	稚魚降下数	親魚遡上数	稚魚降下数
2019年	秋	11,838	約35倍	2,047	約74倍
2020年	春	約5.6倍	414,885	約8.8倍	151,733
	秋	66,330	ほぼ同程度	17,937	約1.6倍
2021年	春		67,883		29,291
	秋	10,686		2,346	

※2020年の親魚遡上数データは環境研究総合推進費によるもの

表3 ルシャ川及びテッパンベツ川におけるカラフトマスの推定親魚遡上数と推定稚魚降下数の関係
出典：北海道森林管理局「令和3年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

(参考)

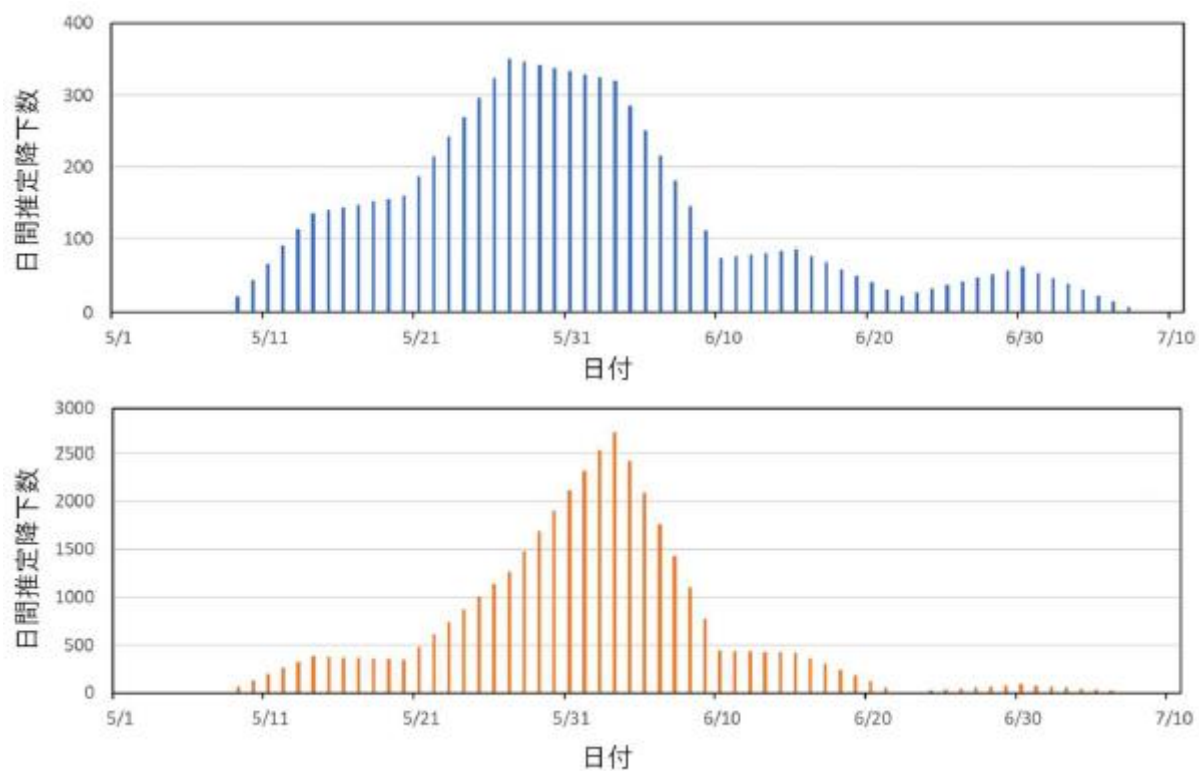


図9 ルシャ川（上）及びテッパンベツ川（下）におけるサケ（シロザケ）の日別推定稚魚降下数
出典：北海道森林管理局「令和3年度知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業報告書」

分類		モニタリング調査	調査実施主体
② 魚介類	サケ類	令和4度(2022度)知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類モニタリング調査委託報告書	北海道

○ルサ川におけるカラフトマスおよびサケの稚魚降下数

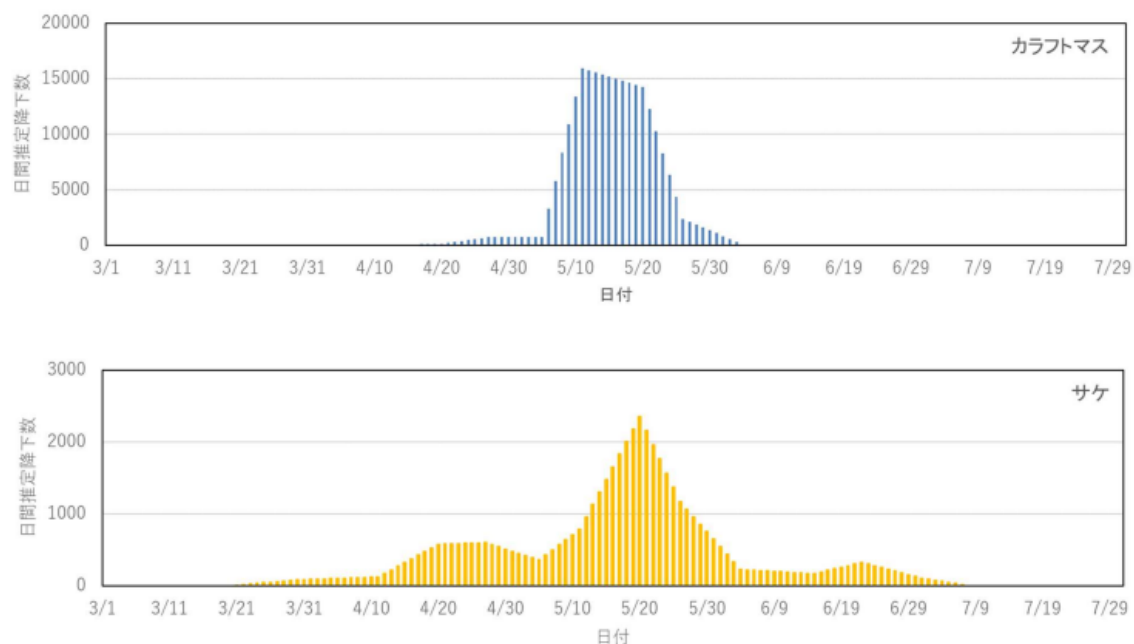


図1 ルサ川における日間推定稚魚降下数（上：カラフトマス、下：サケ）

出典：北海道「令和4度（2022度）知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類モニタリング調査委託報告

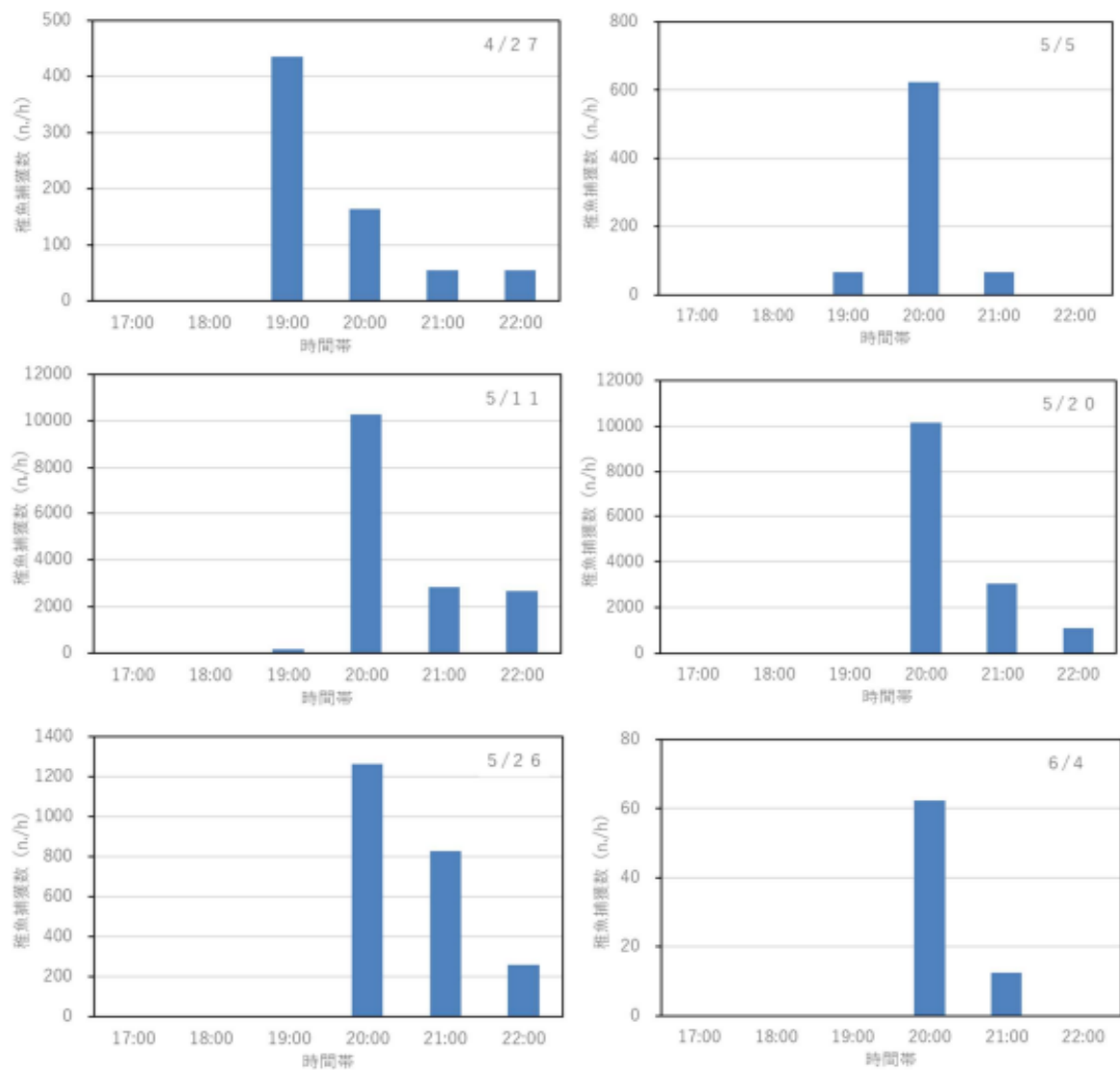


図 2.ルサ川における各調査日の時間帯別サケ稚魚推定降下数（1 時間あたり）

出典：北海道「令和 4 度（2022 年度産地域における
サケ科魚類モニタリング調査委託報告

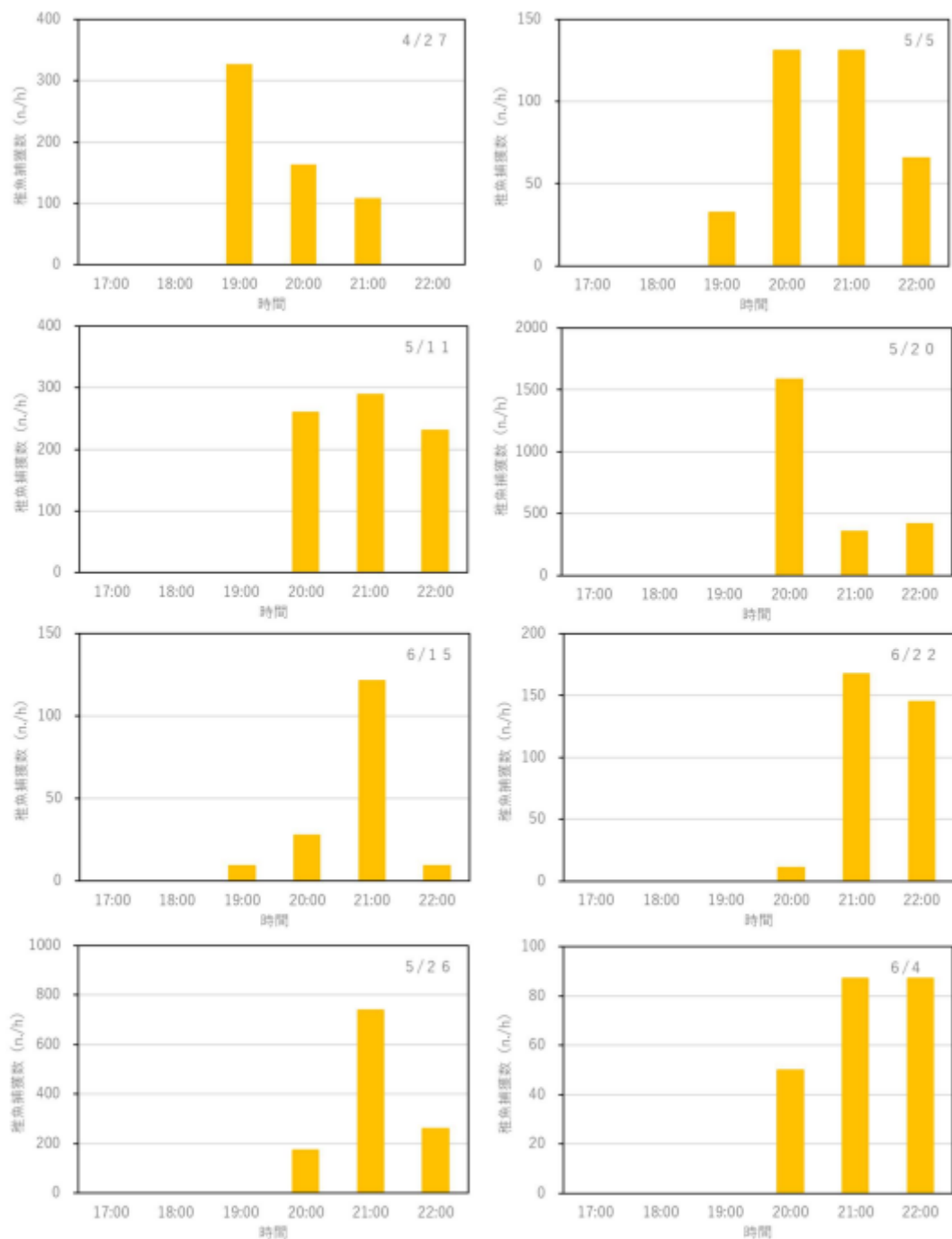


図 3.ルサ川における各調査日の時間帯別サケ稚魚推定降下数（1 時間あたり）

出典：北海道「令和 4 度（2022 度）知床世界自然遺産地域における
サケ科魚類モニタリング調査委託報告

分類		モニタリング調査	調査実施主体
③ 魚介類	サケ類	令和3年度(2021年度)知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類モニタリング調査委託報告書	北海道

○ルサ川におけるカラフトマス稚魚の推定降下数

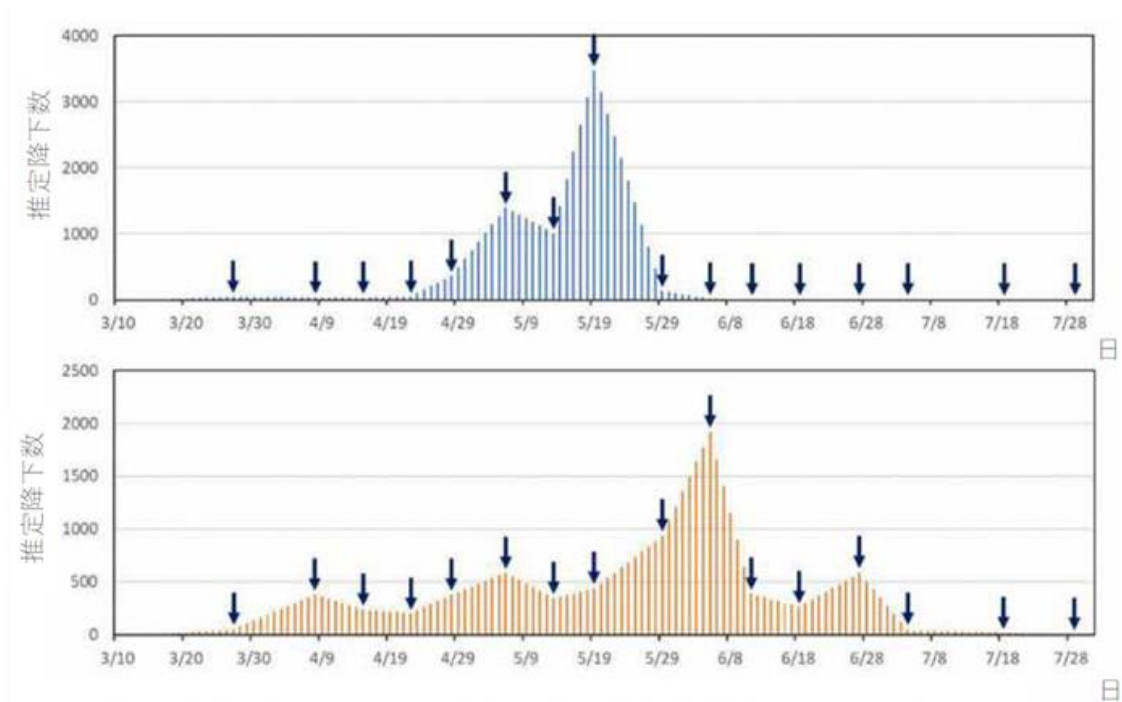


図1 ルサ川における日間推定稚魚降下数（上：カラフトマス、下：サケ）

出典：北海道「令和3年度（2021年度）知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類モニタリング調査委託報告

○ルサ川におけるカラフトマスの推定遡上数

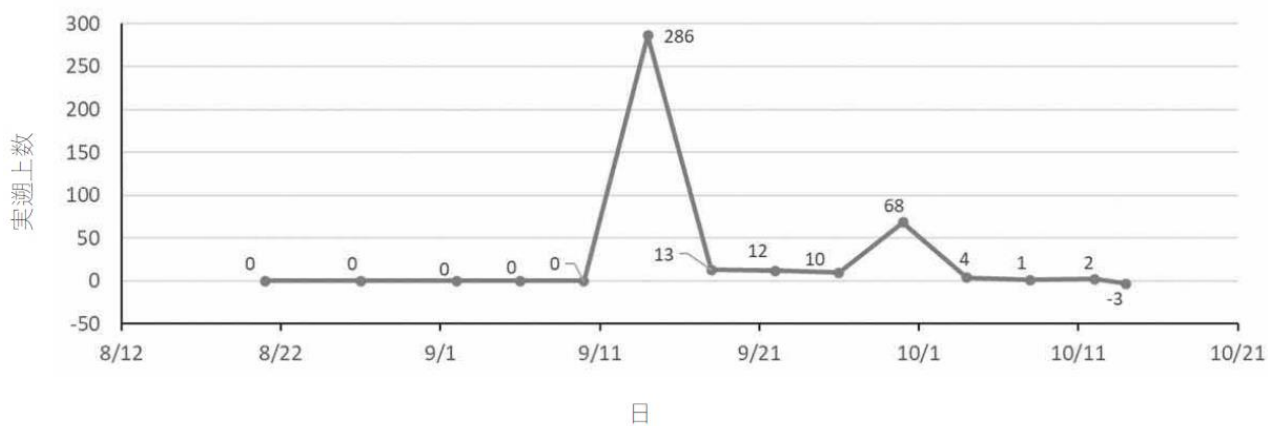


図2 ルサ川における調査日ごとのカラフトマス実遡上数の推移
 出典：北海道「令和3年度（2021年度）知床世界自然遺産地域における
 サケ科魚類モニタリング調査委託報告書」

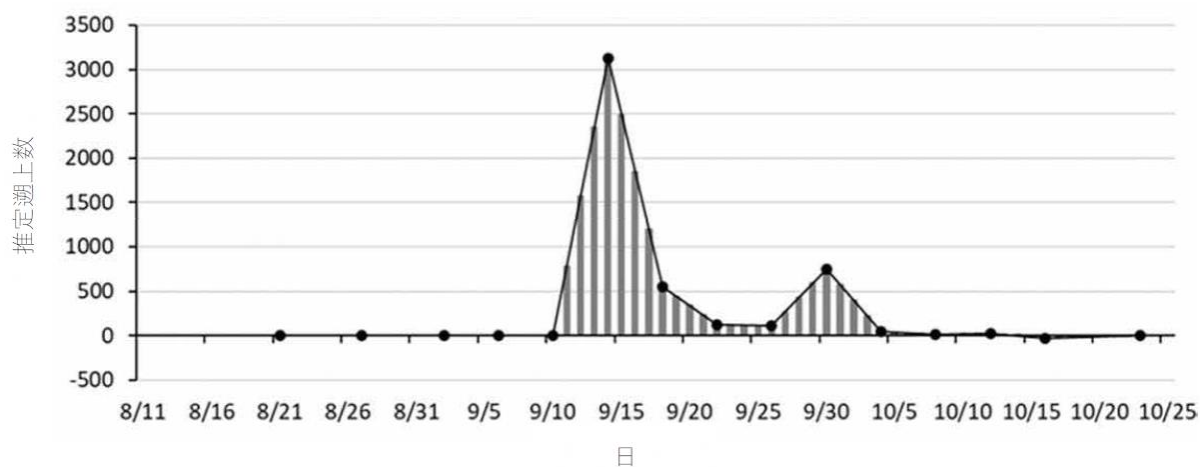


図3 ルサ川における台形近似法（AUC法）によるカラフトマスの推定遡上数（日割）

○ルサ川におけるカラフトマスの産卵床数

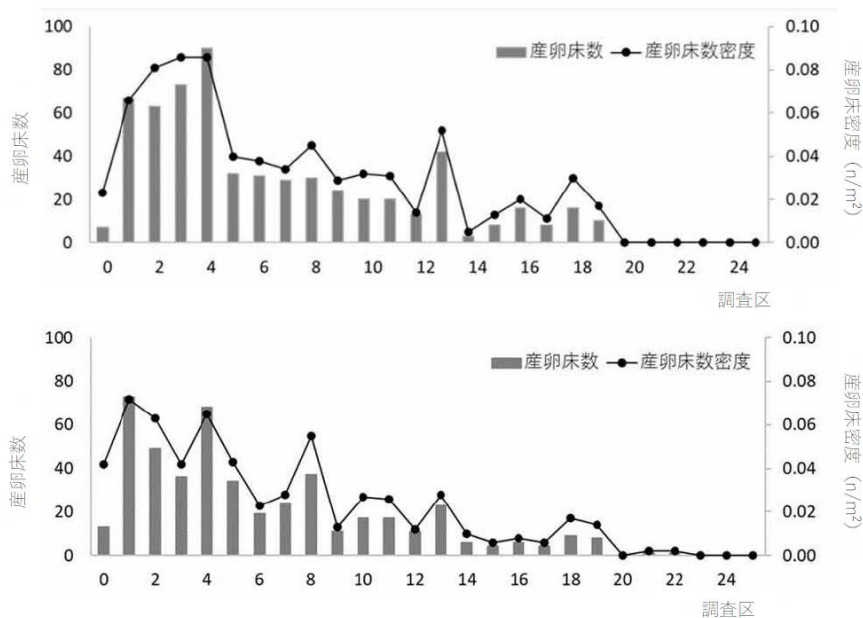


図4 ルサ川におけるカラフトマスの調査区別産卵床数及び産卵床密度（上：9月25日、下：10月9日）
 出典：北海道「令和3年度（2021年度）知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類モニタリング
 調査委託報告書」

表1 ルサ川におけるカラフトマスの遡上数、産卵床数及び産卵床密度の経年変化

出典：北海道「令和3年度（2021年度）知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類モニタリング調査委託報告書」

調査年		推定遡上数	標準誤差	産卵床数	密度 (n/m ²)
H24	2012	147	46		
H25	2013	20,430	7,425	1,764	0.079※ ¹
H26	2014	-	-	-	-
H27	2015	1,605	333	189	0.009
H28	2016	-	-	-	-
H29	2017	1,884	302	250	0.012
H30	2018	-	-	728※ ²	0.038
H31(R1)	2019	660	143	338	0.038
R2	2020	-	-	-	-
R3	2021	18,802	5,058	602	0.034

※H25年（2013年）ルサ川は河床面積を出していなかったため、H28年（2016年）大増水前のH27年（2015年）の河床面積を代用

※※H30年（2018年）の数値は、同手法を用いた知床財団の独自調査結果

分類		モニタリング調査	調査実施主体
②魚介類	スルメイカ	令和3年度（2021年度）資源評価報告書	水産庁

○スルメイカ冬季発生系群

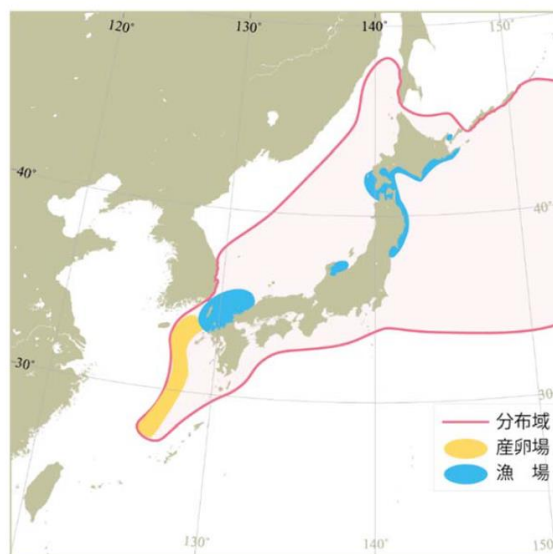


図1 スルメイカ冬季発生系群の分布域・産卵場・漁場形成模式図

図出典：水産庁「令和3年（2021年）度我が国周辺水域の資源評価 詳細版」

岡本 俊、加賀敏樹、久保田洋、宮原寿恵、松井 萌、阿保純一、西嶋翔太、瀬藤 聡（2022）令和3（2021）年度スルメイカ冬季発生系群の資源評価。我が国周辺水域の漁業資源評価。水産庁・水産研究・教育機構，東京，37pp，<https://abchan.fra.go.jp/digests2021/index.html>

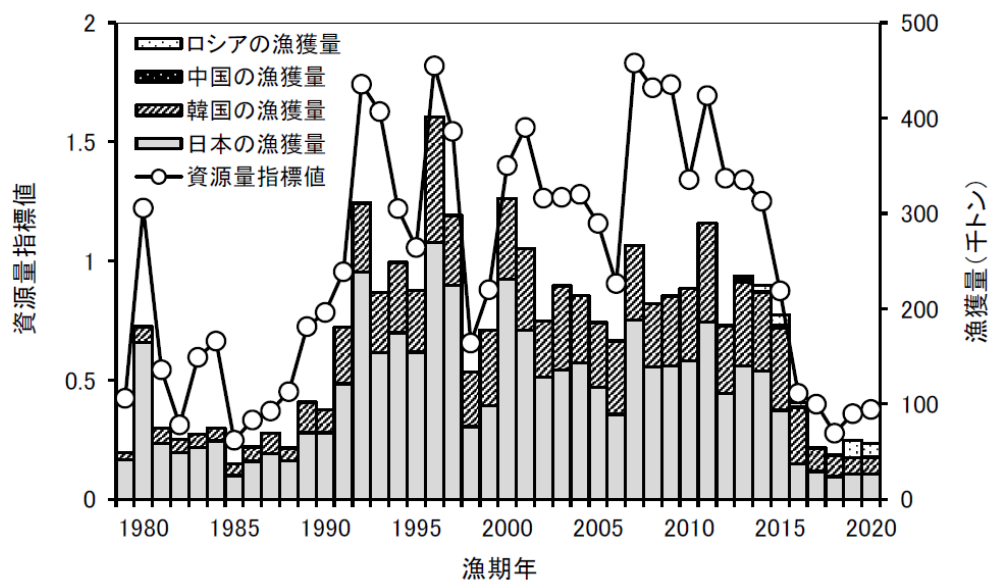


図2 スルメイカ冬季発生系群の国別漁獲量と資源量指標値の推移

図出典：水産庁「令和3年（2021年）度我が国周辺水域の資源評価 詳細版」

岡本 俊、加賀敏樹、久保田洋、宮原寿恵、松井 萌、阿保純一、西嶋翔太、瀬藤 聡（2022）令和3（2021）年度スルメイカ冬季発生系群の資源評価。我が国周辺水域の漁業資源評価。水産庁・水産研究・教育

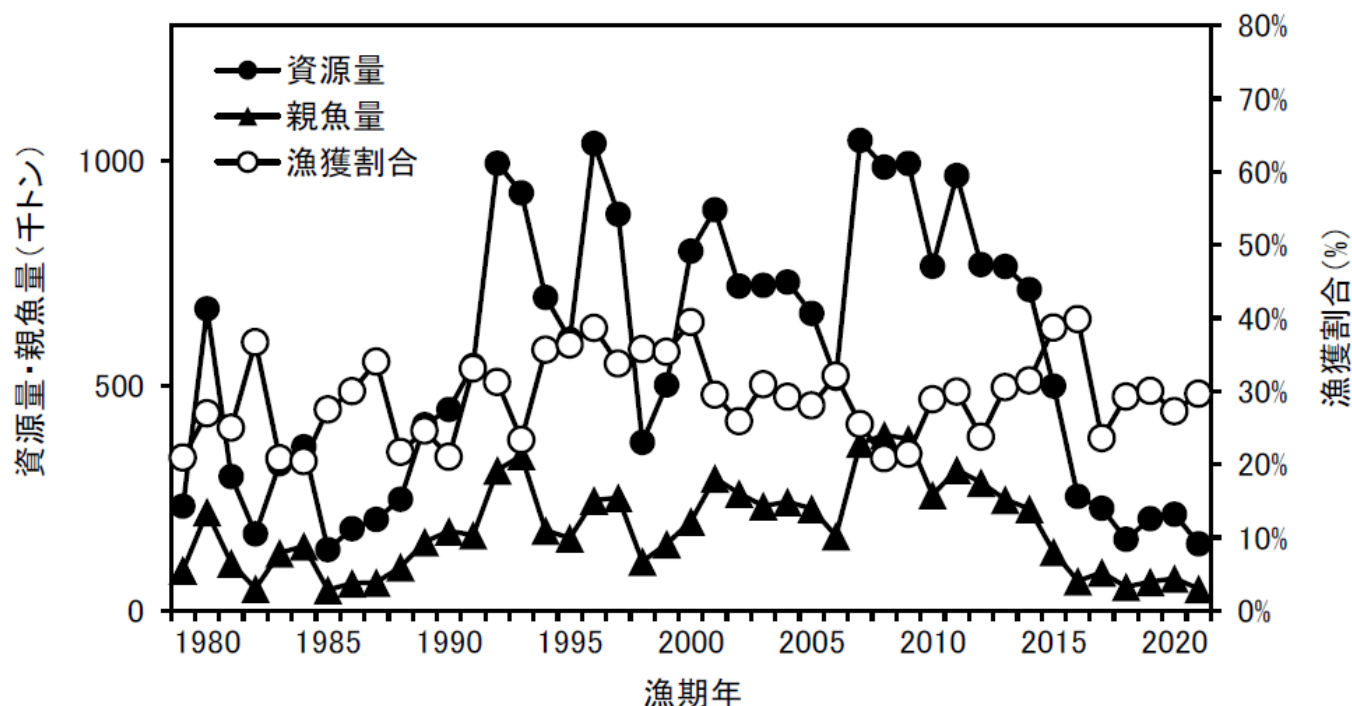


図3 スルメイカ冬季発生系群の資源量と親魚量と漁獲割合

図出典：水産庁「令和3年（2021年）度我が国周辺水域の資源評価 詳細版」

岡本 俊、加賀敏樹、久保田洋、宮原寿恵、松井 萌、阿保純一、西嶋翔太、瀬藤 聡（2022）令和3（2021）年度スルメイカ冬季発生系群の資源評価．我が国周辺水域の漁業資源評価．水産庁・水産研究・教育機構，東京，37pp, <https://abchan.fra.go.jp/digests2021/index.html>

スルメイカ冬季発生系群の漁獲量は、昭和55年（1980年代）では低水準で推移し、平成元年（1989年）漁期以降に増加傾向に転じて平成8年（1996年）漁期には約40万トンになった。平成23年（2011年）～平成27年（2015年）漁期は18万～29万トンで推移していたが、平成28年（2016年）漁期以降は大きく減少して推移している。令和2年（2020年）漁期の漁獲量は前年より減少し、約5.9万トンであった。

資源量は、昭和56年（1981年）～昭和63年（1988年）漁期は40万トン以下で推移していたが、平成元年（1989年）漁期以降増加して平成8年（1996年）漁期には103.8万トンに達した。その後は概ね50万～100万トンで推移していたが、平成27年（2015年）漁期から大きく減少に転じ、平成28年（2016年）漁期以降は30万トン以下の低い水準で推移している。令和2年（2020年）漁期は前年よりやや増加し（前年比105%）、21.5万トンであった。令和3年（2021年）漁期の資源量は14.9万トンと予測された。

○スルメイカ秋季発生系群



図4 スルメイカ秋季発生系群の分布域・産卵場・漁場形成模式図

図出典：水産庁「令和3年（2021年）度我が国周辺水域の資源評価 詳細版」

久保田洋、宮原寿恵、加賀敏樹、岡本 俊、西嶋翔太、松倉隆一、松井 萌、阿保純一、高崎健二、齋藤勉、稲掛伝三（2022）令和3（2021）年度スルメイカ秋季発生系群の資源評価。我が国周辺水域の漁業資源評価。水産庁・水産研究・教育機構，東京，54pp，<https://abchan.fra.go.jp/digests2021/index.html>

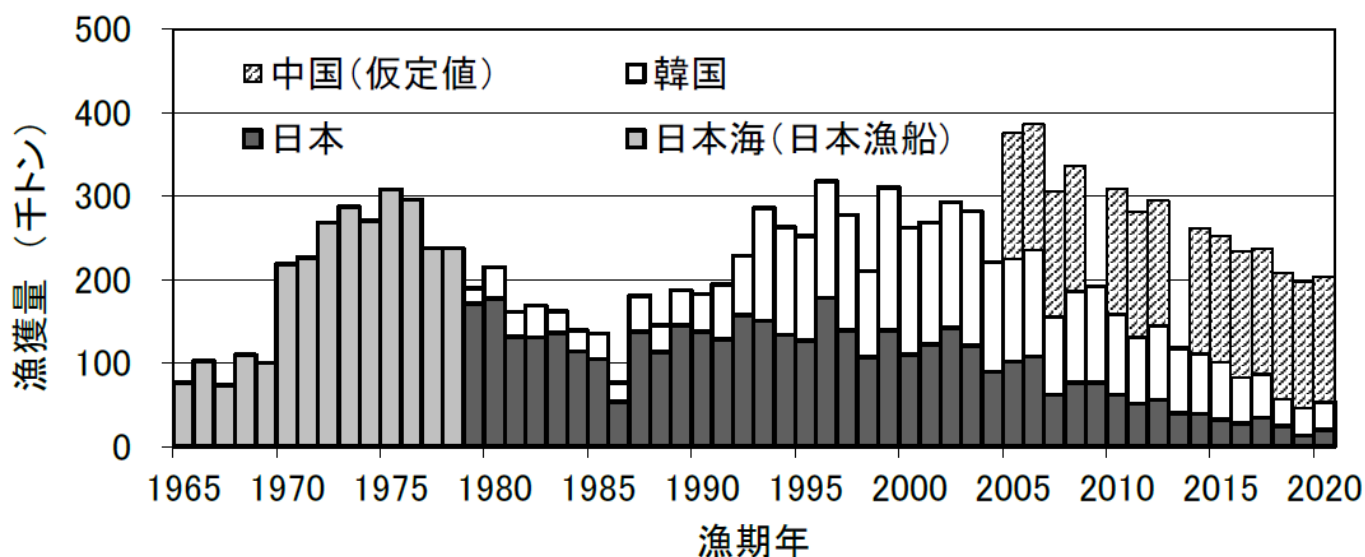


図5 スルメイカ秋季発生系群の漁獲量の推移

図出典：水産庁「令和3年（2021年）度我が国周辺水域の資源評価 詳細版」

久保田洋、宮原寿恵、加賀敏樹、岡本 俊、西嶋翔太、松倉隆一、松井 萌、阿保純一、高崎健二、齋藤勉、稲掛伝三（2022）令和3（2021）年度スルメイカ秋季発生系群の資源評価。我が国周辺水域の漁業資源評価。

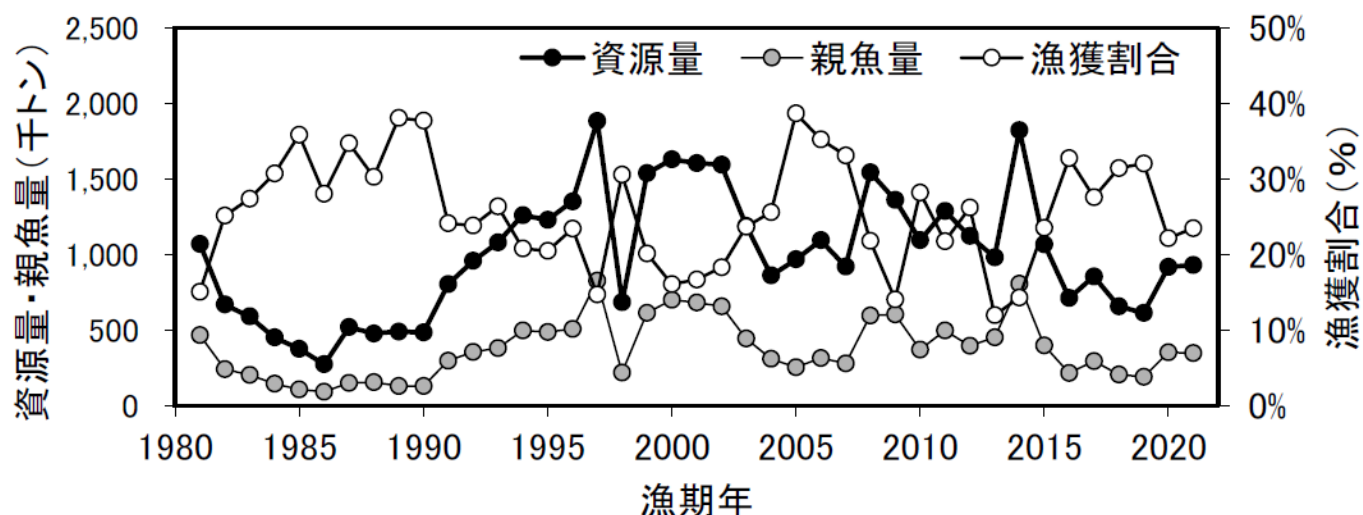


図6 スルメイカ秋季発生系群の資源量、親魚量、漁獲割合の推移

図出典：水産庁「令和3年（2021年）度我が国周辺水域の資源評価 詳細版」

久保田洋、宮原寿恵、加賀敏樹、岡本 俊、西嶋翔太、松倉隆一、松井 萌、阿保純一、高崎健二、齋藤勉、稲掛伝三（2022）令和3（2021）年度スルメイカ秋季発生系群の資源評価. 我が国周辺水域の漁業資源評価. 水産庁・水産研究・教育機構, 東京, 54pp, <https://abchan.fra.go.jp/digests2021/index.html>

スルメイカ秋季発生系群の漁獲量は、昭和55年（1980年）代は平均15.7万トンであったが、韓国の漁獲量の急速な増加により、平成8年（1996年）漁期および平成11年（1999年）漁期には30万トンを超え、昭和45年（1970年）代前半の日本海の漁獲量と同程度まで増加した。以降、日韓合計の漁獲量は平成12年（2000年）前後をピークとして減少したが、平成17年（2005年）漁期以降に中国漁船による漁獲が本格化し、平成17年（2005年）および平成18年（2006年）漁期で38万トン前後のピークとなり、以降は減少傾向で、令和元年（2019年）漁期で19.7万トン、令和2年（2020年）漁期で20.4万トンであった。なお、平成17年（2005年）漁期以降の漁獲量は、中国漁船による漁獲量（仮定値）が含まれる。

資源量は、昭和55年（1980年）代の低い水準から平成2年（1990年）代に増加し、平成9年（1997年）漁期に最大の約190万トンとなった。平成11年（1999年）漁期（4月～翌年3月）以降は90万～180万トン程度の高い水準で推移したが、平成28年（2016年）漁期以降は60万～90万トン程度となっている。令和3年（2021年）漁期の資源量は93.1万トンと推定された。

分類		モニタリング調査	調査実施主体
③海棲哺乳類	ゴマフアザラシ	羅臼海域での有害駆除個体調査	北の海の動物センター

○個体特性

調査・モニタリング名	羅臼海域での有害駆除個体調査
主な内容	来遊状況の調査及び有害駆除されたアザラシの食性、DNA、繁殖などの解析
対象地域	羅臼町
頻度	1～3 月
調査主体	特定非営利活動法人 北の海の動物センター
調査概要	【調査時期】 - 平成 25 年～平成 26 年（2013 年～2014 年） 【調査個体】 - 羅臼町で有害駆除されたゴマフアザラシ 4 2 個体を調査 胃、筋肉を採取し、胃より食性分析を実施、今後、筋肉及び魚類から安定同位体分析を実施予定 【出現内容及び頻度】 - 春期（4 月～6 月）は、魚類（9 科 12 種）＋頭足類（2 科 2 種）（n=15） - コマイ 57.1%、エビ類 50%、キュウリウオ 35.7% - 冬期（12 月～3 月）は、魚類（7 科 9 種）＋頭足類（1 科 1 種）（n=9） - コマイ 80%、スケトウダラ 70%、スルメイカ 60% 【結果】 - 従来通り、冬期は、スケトウダラを始めとするタラ科魚類の利用が多かったが、スケトウダラよりもコマイの利用頻度の方が高かった。 - 冬期と春期を比較すると、春期の方が色々な餌生物を利用していることが明らかになった。 - 春期は頭足類、冬期はカレイ類が利用されていた。” 【その他】 - 今後、安定同位体解析を行う予定。

(参考)

○オホーツク海全体に生息するゴマフアザラシの個体数について（参考文献からの推察）

○1968年～1969年のオホーツク海に生息するゴマフアザラシの推定数は170,000頭
（下記論文①及び③より引用）

○商業捕獲が制限された後の1976年～1979年の200,000頭に増加
（下記論文②及び③より引用）

その後、商業捕獲は中止されたため、さらに個体数が増加していると推測される。
それに伴い、北海道へ来遊する個体数が増加している。
特に、日本海側では顕著（オホーツク海側では定量的な調査ができていない）。

出典：

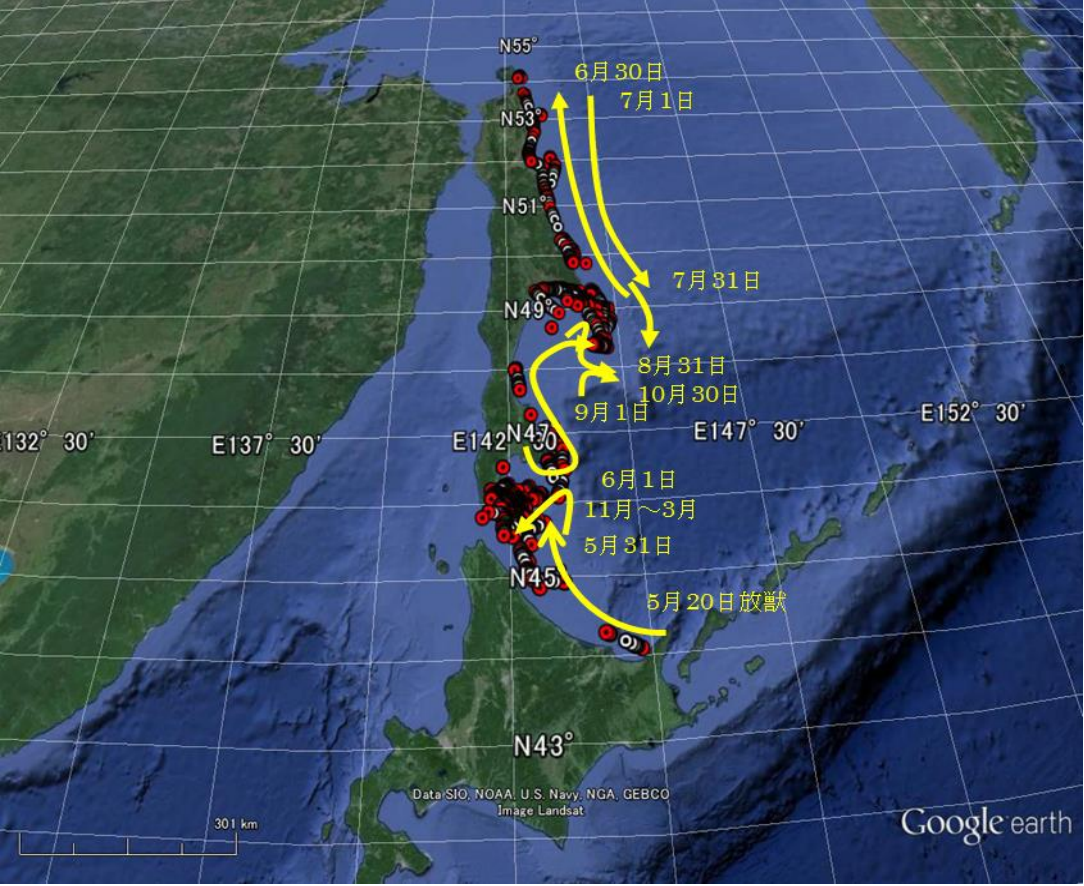
①Fedoseev G. A. 1970 Distribution and numbers of seals off Sakhalin Island. Izvestiya TINRO 71:319-324.

②Fedoseev G. A. 1984 Population structure, current status, and perspectives for utilization of the ice-inhabiting forms of pinnipeds in the northern part of the Pacific Ocean. In: Marine Mammals. pp. 130 -146. Nauka, Moscow.

③Mizuno, A. W., A Wada, T. Ishinazaka, K. Hattori, Y. Watanabe, and N. Ohtaishi. 2002 Distribution and abundance of spotted seals *Phoca largha* and ribbon seals *Phoca fasciata* in the southern Sea of Okhotsk, Japan. Ecological Research 17:79-96.

分類		モニタリング調査	調査実施主体
③海棲哺乳類	ゴマフアザラシ	羅臼海域で混獲個体への発信機装着	北の海の動物センター

○個体の移動

調査・モニタリング名	羅臼海域で混獲個体への発信機装着
主な内容	来遊状況の調査
対象地域	羅臼町
頻度	5月
調査主体	特定非営利活動法人 北の海の動物センター
調査概要	【調査時期】 - 平成26年（2014年）5月20日～平成27年（2015年）4月25日 【調査個体】 - 羅臼町峰浜で定置網に混獲した個体（体重32kg、全長117.4cm、体長101.5cm） - 発信機を装着し、網走の海岸から放獣 【結果】  - 発信機装着5月20日放獣から翌年4月25日まで、ほぼ1年間移動を追跡できた。 - この個体の夏の生息地は、テルベニア湾近辺だと考えられた。 これまで焼尻や抜海で発信機を装着した個体と同様の場所を夏の生息地にしていた。 - 夏の生息地へ移動するまえに、サハリン北部まで行って戻って夏の生息地へ、その後夏の生息地から秋口には南下してサハリンのアニア湾を利用。

分類		モニタリング調査	調査実施主体
③海棲哺乳類	ゴマフアザラシ	羅臼町峰浜地区における 4月～6月の刺網の混獲状況	小林委員

○羅臼町峰浜地区における4月～6月の刺網の混獲状況（平成19年～令和元年（2007年～2019年））

→令和2年（2020年）から操業なし

年度	ゴマフ	クラカケ	ワモン	アゴヒゲ	合計
2007	0	0	0	0	0
2008	5	1	0	0	6
2009	3	0	0	0	3
2010	2	1	1	0	4
2011	0	1	0	0	1
2012	3	0	0	0	3
2013	3	0	0	0	3
2014	18	5	1	1	25
2015	0	0	0	0	0
2016	0	0	0	0	0
2017	0	1	0	0	1
2018	0	0	0	0	0
2019	0	0	0	0	0
合計	34	9	2	1	46

（海域ワーキンググループ小林委員提供）

分類		モニタリング調査	調査実施主体
③海棲哺乳類	トド	知床半島東岸におけるトドの越冬来遊状況	知床財団

定点目視調査：

冬期（11～2 月中心）に知床半島東岸（根室海峡北部）の陸上地点からトドの目視調査を実施。

表 1 知床半島東岸におけるトドの越冬来遊状況（陸上からの目視調査における各年度最大カウント）

（頭）

2006/07冬季 (2006. 10. 21 ～ 2007. 4. 26)	2007/08冬季 (2007. 9. 30 ～2008. 3. 8)	2008/09冬季 (2008. 11. 3 ～ 2009. 3. 10)	2009/10冬季 (2009. 11. 16 ～ 2010. 2. 15)	2010/11冬季 (2010. 11. 15 ～ 2011. 2. 14)	2011/12冬季 (2011. 10. 22 ～2012. 2. 4)	2012/13冬季 (2012. 11. 21 ～ 2013. 2. 12)
95	98	60	126	179	128	131

2013/14冬季 (2013. 11. 2 ～2014. 2. 7)	2014/15冬季 (2014. 10. 25 ～ 2015. 2. 21)	2015/16冬季 (2015. 11. 7 ～ 2016. 2. 19)	2016/17冬季 (2016. 12. 19 ～ 2017. 2. 17)
110	103	88	105

（出典：石名坂ら（2009）知床博物館研究報告 30:27-53., 知床財団独自調査事業データ（野生生物保護学会第17 回大会講演要旨集 pp.85-86 など）, Ishinazaka(2015) *Eumetopias jubatus* (Schreber,1776) In: The Wild Mammals of Japan. Second edition. Shoukadoh, Kyoto, pp.292-294)

分類		モニタリング調査	調査実施主体
④鳥類	海ワシ類	オオワシ・オジロワシ渡来数調査	知床財団

調査・モニタリング名	オオワシ・オジロワシ渡来数調査
主な内容	渡来個体数の調査
対象地域	羅臼町
頻度	12～4月
調査主体	公益財団法人知床財団
調査結果概要	オジロワシ・オオワシ合同調査グループの年1回の調査では把握しきれない越冬渡来数の状況を把握するために、羅臼町内の海岸線でカウント調査を行っている。知床財団の独自事業として行っており、成果の公表はされていないが、オジロワシ・オオワシの羅臼町への渡来数は、近年漸減から横ばいである。また、ワシ類にエサを与えている観光船が出港している際には、その付近にワシが集中して確認される状況が続いていることも分かっている。

分類	モニタリング調査	調査実施主体
⑤地域社会	斜里町及び羅臼町における漁業生産の経年変化	鳥澤 雅

○斜里町および羅臼町における漁業生産の経年変化

羅臼側では、昭和 45 年（1970 年）代前半までの温暖期にはスルメイカ、昭和 55 年（1980 年）代末までの寒冷期にスケトウダラ、そして平成 2 年（1990 年）代以降の温暖期に、再びスルメイカが漁獲されている。

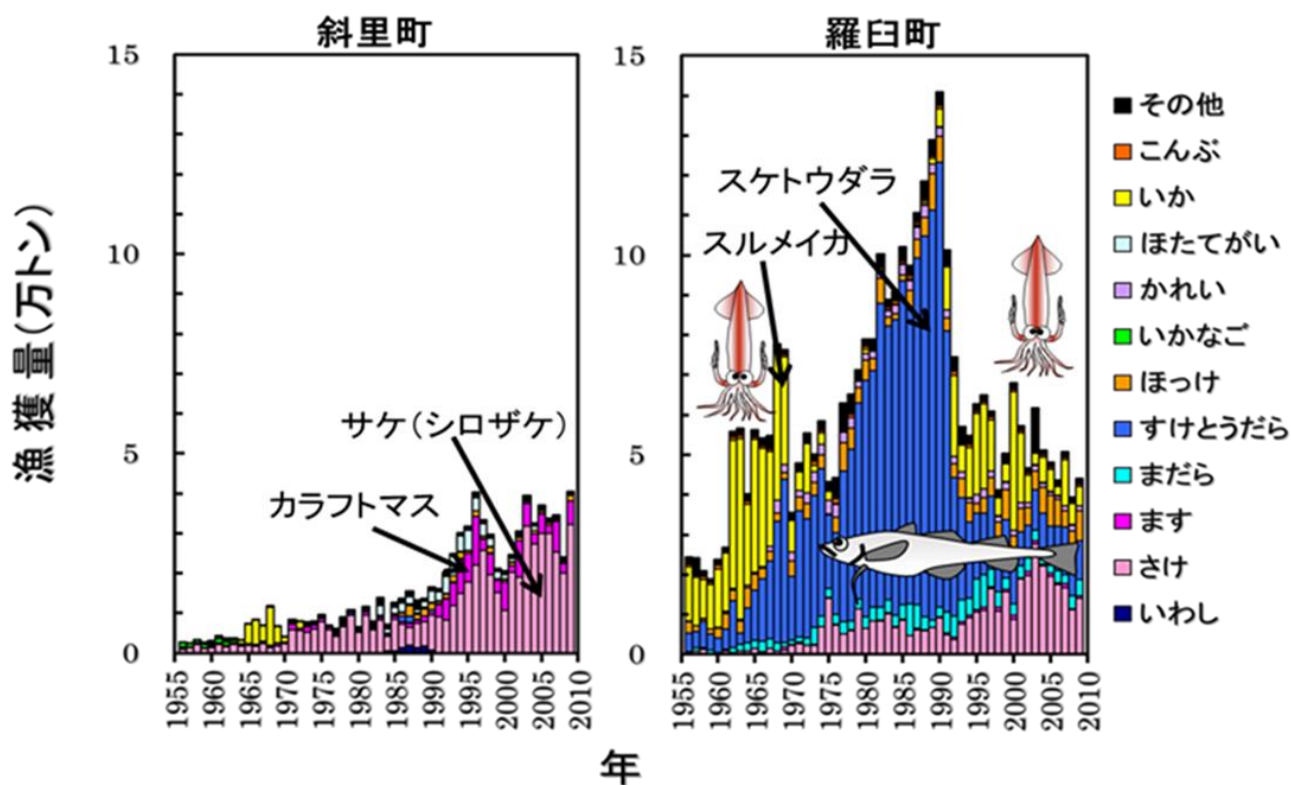


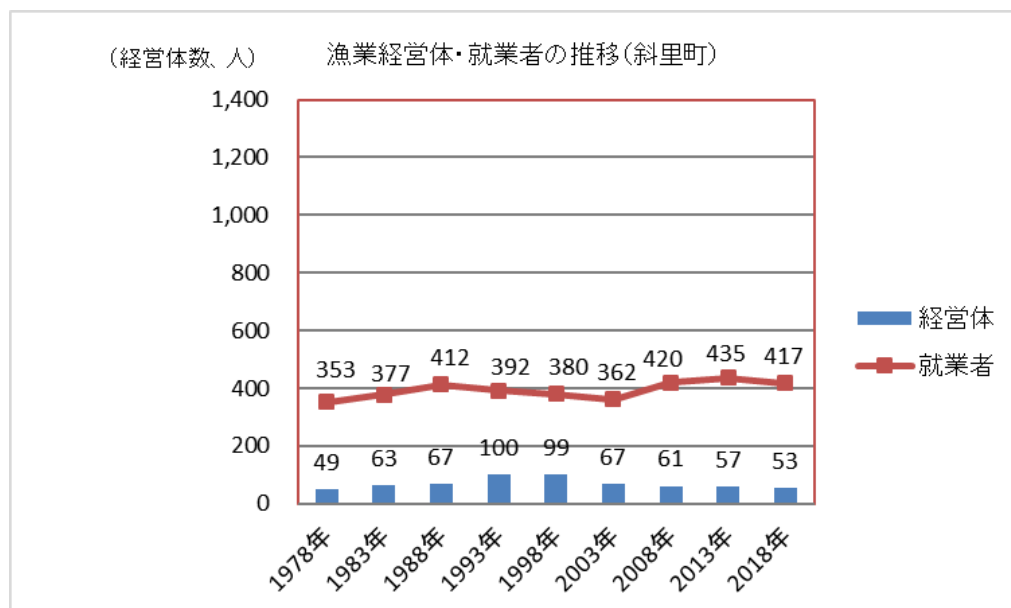
図1 斜里町及び羅臼町における漁業生産の経年変化

出典：斜里町および羅臼町における漁業生産の経年変化（鳥澤，2013）

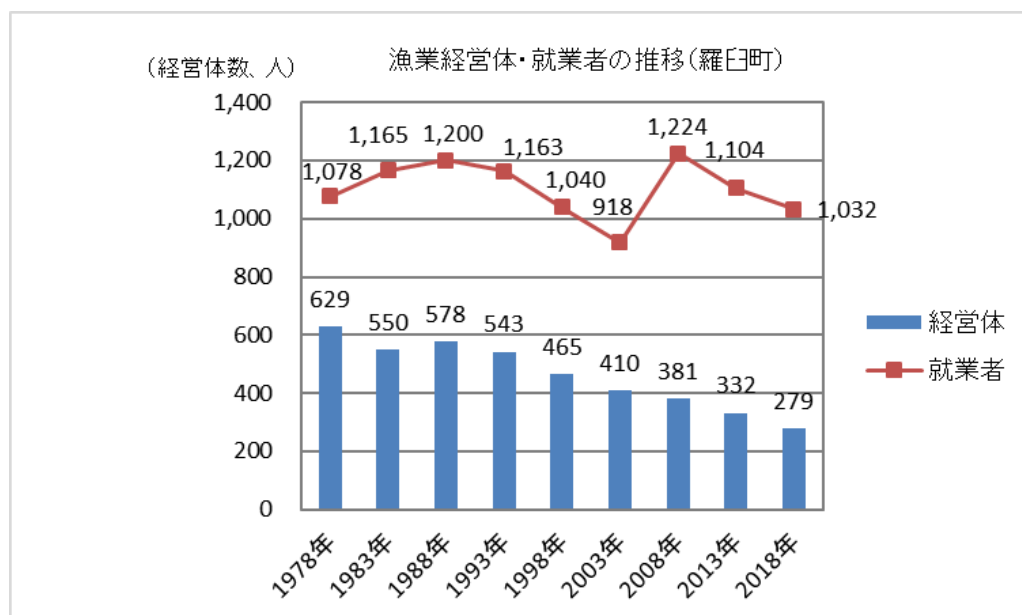
分類	モニタリング調査	調査実施主体
⑤地域社会	漁業センサス	農林水産省

[漁業経営体数・就業者数]

○斜里町



○羅臼町

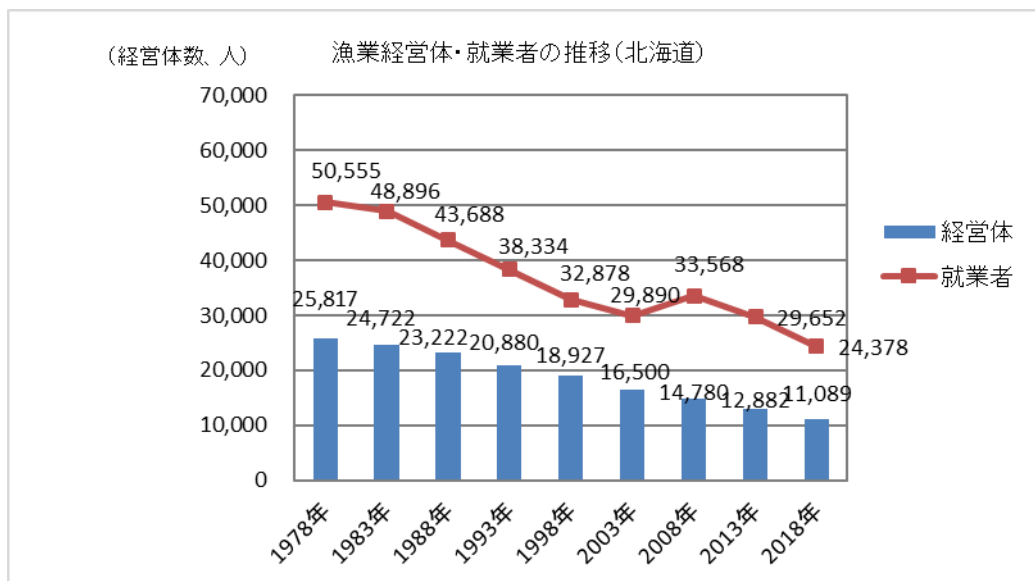


(注) 漁業就業者数は平成 20 年 (2008 年) から調査体系が変更された

図 1 漁業経営体・就業者の推移(斜里町・羅臼町)

作図データ出典：農林水産省「漁業センサス」

○北海道



(注) 漁業就業者数は平成 20 年 (2008 年) から調査体系が変更された

図 2 漁業経営体・就業者の推移 (北海道)

作図データ出典：農林水産省「漁業センサス」

[漁業就業者年齢別構成比の推移]

○斜里町

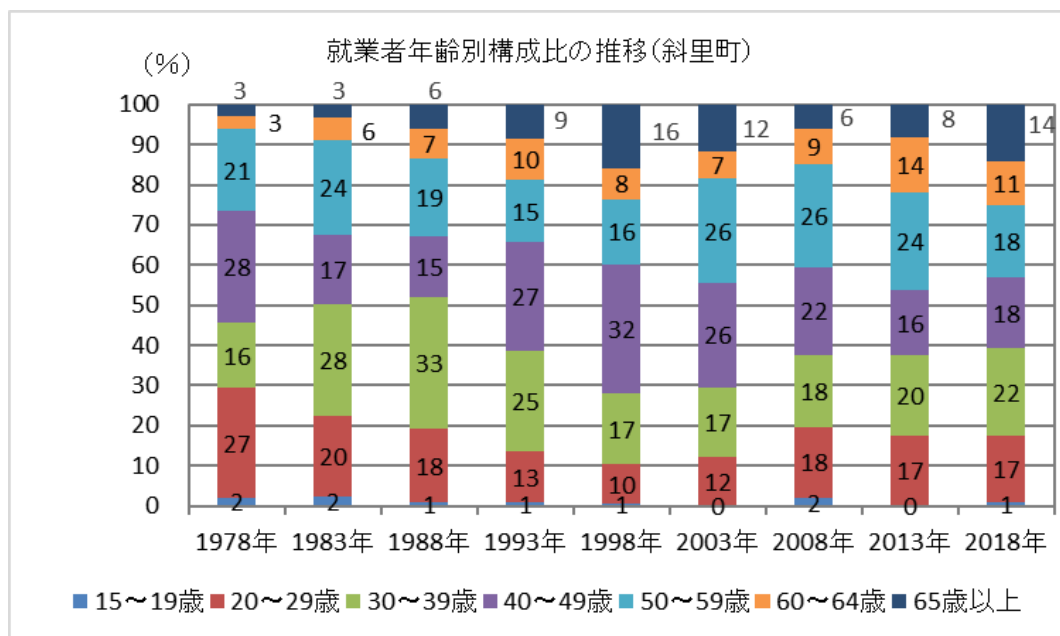


図 3 就業者年齢別構成比の推移 (斜里町)

作図データ出典：農林水産省「漁業センサス」

○羅臼町

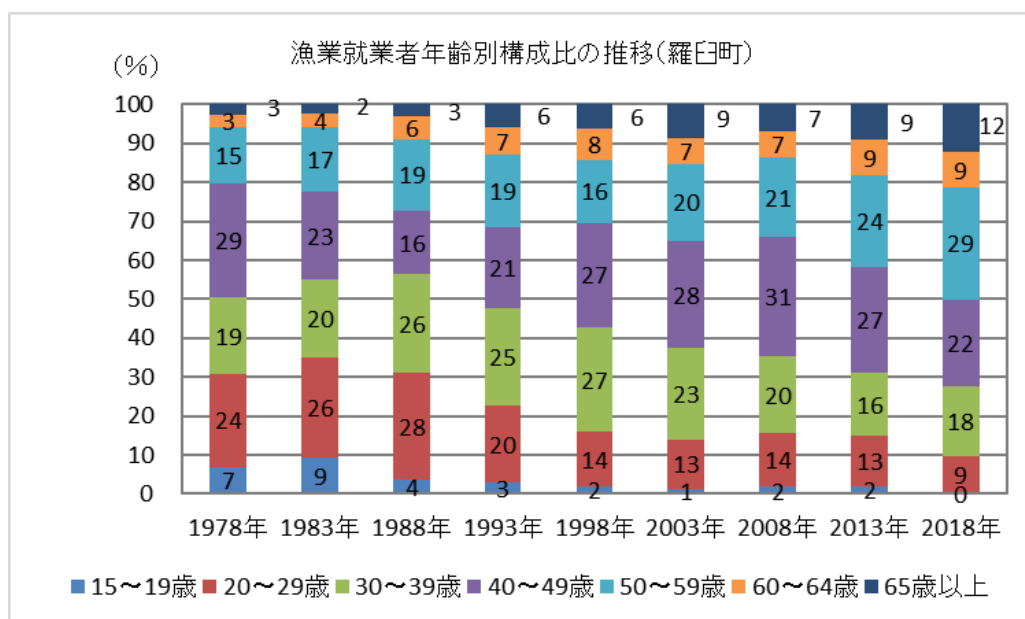


図4 就業者年齢別構成比の推移(羅臼町)
作図データ出典：農林水産省「漁業センサス」

○北海道

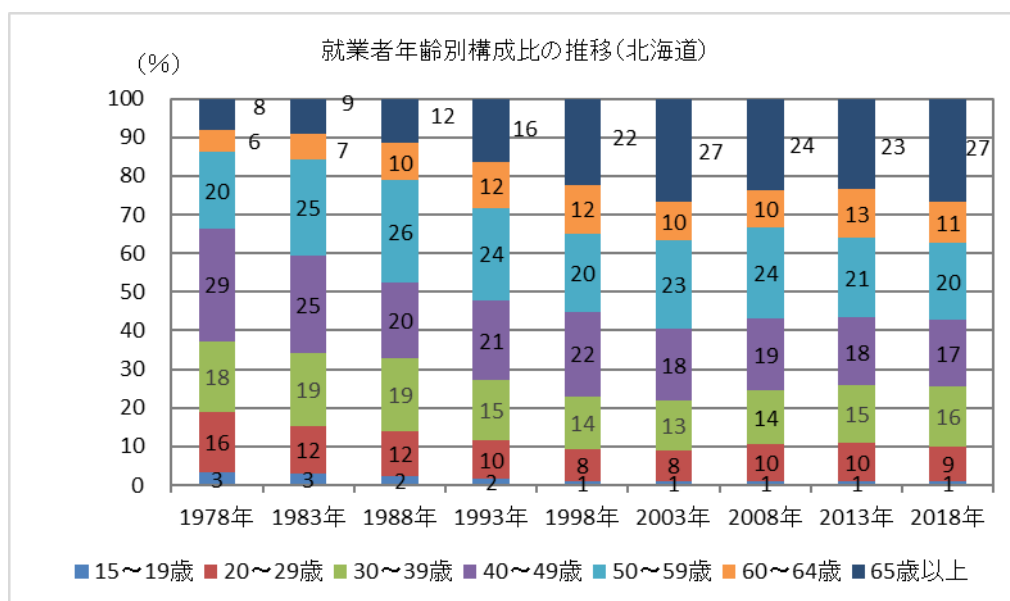


図5 就業者年齢別構成比の推移(北海道)
作図データ出典：農林水産省「漁業センサス」

分類	モニタリング調査	調査実施主体
⑤地域社会	北海道漁船統計表	北海道

[海水動力漁船の推移]

○斜里町

表1 海水動力船の推移（斜里町）

	総数		0t ～ 0.9t		1t ～ 2.9t		3t ～ 4.9t	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	185	1,170.50	38	20.26	68	108.19	23	104.50
2013 年	179	1,133.89	37	19.42	67	107.74	20	92.18
2014 年	176	1,149.70	37	19.42	66	105.80	16	73.87
2015 年	172	1,146.95	34	17.72	65	104.90	16	73.72
2016 年	172	1,120.79	33	17.22	68	111.24	16	73.72
2017 年	172	1,142.69	33	17.02	68	112.14	15	69.92
2018 年	167	1,114.38	31	15.82	67	109.64	15	69.92
2019 年	161	1,111.67	30	15.42	63	101.83	14	65.52
2020 年	165	1,134.16	31	16.12	65	105.62	14	65.52
2021 年	162	1,113.35	31	16.32	64	104.41	13	60.72

	5t ～ 9.9t		10t ～ 14.9t		15t ～ 19.9t		20t ～ 29.9t	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	6	41.61	8	110.00	42	785.94	—	—
2013 年	6	41.61	9	124.00	40	748.94	—	—
2014 年	6	41.61	9	124.00	42	785.00	—	—
2015 年	6	41.61	9	124.00	42	785.00	—	—
2016 年	6	41.61	8	111.00	41	766.00	—	—
2017 年	6	41.61	7	98.00	43	804.00	—	—
2018 年	5	35.00	7	98.00	42	786.00	—	—
2019 年	4	25.90	7	98.00	43	805.00	—	—
2020 年	4	25.90	7	98.00	44	823.00	—	—
2021 年	4	25.90	7	98.00	43	808.00	—	—

	30t ～ 49.9t		50t ～ 99.9t		100t ～199.9t		200t ～	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2013 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2014 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2015 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2016 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2017 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2018 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2019 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2020 年	—	—	—	—	—	—	—	—
2021 年	—	—	—	—	—	—	—	—

出典：北海道「北海道漁船統計表」

表 2 海水動力船の推移（羅臼町）

	総数		0t ～ 0.9t		1t ～ 2.9t		3t ～ 4.9t	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	1,011	3,741.63	329	233.63	436	646.92	74	329.53
2013 年	996	3,647.70	323	230.47	431	641.77	76	335.05
2014 年	992	3,619.95	320	227.49	435	647.53	73	321.06
2015 年	931	3,485.18	295	208.09	404	602.12	70	308.76
2016 年	890	3,262.05	284	200.10	388	575.46	63	277.46
2017 年	881	3,205.75	281	198.30	386	570.76	63	275.76
2018 年	879	3,197.66	280	197.32	385	568.76	63	275.65
2019 年	864	3,151.80	276	191.92	378	559.20	61	268.85
2020 年	844	3,093.26	272	188.62	367	540.34	57	249.57
2021 年	835	3,077.45	267	185.32	365	537.56	55	241.84

	5t ～ 9.9t		10t ～ 14.9t		15t ～ 19.9t		20t ～ 29.9t	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	48	382.45	28	329.84	95	1,775.94	—	—
2013 年	47	374.00	26	305.15	92	1,715.91	—	—
2014 年	45	359.49	26	305.15	92	1,715.91	—	—
2015 年	46	366.09	27	319.15	88	1,637.65	—	—
2016 年	48	376.49	26	306.15	80	1,483.07	—	—
2017 年	46	362.39	25	292.15	79	1,463.07	—	—
2018 年	46	362.39	26	306.15	78	1,444.07	—	—
2019 年	45	357.29	26	306.15	77	1,425.07	—	—
2020 年	45	358.19	26	306.15	76	1,407.07	—	—
2021 年	45	358.19	26	306.15	76	1,405.07	—	—

	30t ～ 49.9t		50t ～ 99.9t		100t ～199.9t		200t ～	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2013 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2014 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2015 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2016 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2017 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2018 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2019 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2020 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—
2021 年	1	43.32	—	—	—	—	—	—

出典：北海道「北海道漁船統計表」

表 3 海水動力船の推移（北海道）

	総数		0t ～ 0.9t		1t ～ 2.9t		3t ～ 4.9t	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	27,686	103,064.75	10,516	6,014.72	9,896	16,225.02	3,481	15,280.62
2013 年	26,886	99,837.28	10,162	5,825.35	9,623	15,753.44	3,389	14,874.51
2014 年	26,302	97,927.58	9,918	5,707.05	9,394	15,374.60	3,317	14,556.96
2015 年	25,679	95,030.22	9,643	5,550.43	9,150	14,951.57	3,256	14,295.08
2016 年	25,106	93,729.03	9,384	5,416.09	8,938	14,601.71	3,206	14,074.65
2017 年	24,590	92,372.74	9,135	5,280.36	8,754	14,281.18	3,158	13,856.69
2018 年	23,973	91,112.26	8,814	5,109.92	8,542	13,906.20	3,116	13,670.68
2019 年	23,540	89,730.34	8,659	5,022.61	8,365	13,611.70	3,073	13,472.03
2020 年	23,057	87,664.26	8,459	4,926.88	8,186	13,311.09	3,015	13,215.35
2021 年	22,574	85,574.07	8,257	4,820.46	8,004	13,008.85	2,958	12,977.38

	5t ～ 9.9t		10t ～ 14.9t		15t ～ 19.9t		20t ～ 29.9t	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	2,277	18,555.21	678	9,048.02	686	12,544.93	21	610.63
2013 年	2,228	18,179.57	669	8,925.58	669	12,209.90	23	668.63
2014 年	2,204	17,995.82	661	8,824.04	665	12,123.18	26	755.63
2015 年	2,179	17,814.03	657	8,771.39	662	12,066.79	26	755.63
2016 年	2,149	17,582.44	643	8,587.11	655	11,914.10	26	755.63
2017 年	2,134	17,471.80	638	8,521.65	639	11,619.13	26	755.63
2018 年	2,099	17,184.67	641	8,561.53	632	11,483.88	27	784.63
2019 年	2,062	16,882.69	629	8,413.70	624	11,331.23	27	784.63
2020 年	2,042	16,750.64	623	8,342.18	607	11,023.74	27	784.63
2021 年	2,008	16,482.56	614	8,212.96	615	11,155.48	25	726.63

	30t ～ 49.9t		50t ～ 99.9t		100t ～ 199.9t		200t ～	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2012 年	9	353.66	9	818.94	96	15,058.00	17	8,555.00
2013 年	9	353.66	7	620.64	91	14,454.00	16	7,972.00
2014 年	9	353.66	6	530.64	87	13,894.00	15	7,812.00
2015 年	9	367.66	6	500.64	77	12,494.00	14	7,436.00
2016 年	9	367.66	5	408.64	77	12,558.00	14	7,463.00
2017 年	10	416.66	5	408.64	78	12,771.00	13	6,990.00
2018 年	7	295.11	5	408.64	77	12,717.00	13	6,990.00
2019 年	9	393.11	3	217.64	76	12,540.00	13	7,061.00
2020 年	9	393.11	3	217.64	75	12,422.00	11	6,277.00
2021 年	10	432.11	3	217.64	70	11,674.00	10	5,866.00

出典：北海道「北海道漁船統計表」

分類	モニタリング調査	調査実施主体
④ 地域社会	令和3年度知床国立公園適正利用等検討業務報告書	環境省

[観光船利用者数]

○斜里町（ウトロ地区）

表1 ユトロ地区観光船利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
2012年	1,635	11,983	26,517	34,111	49,182	35,542	11,116	129	170,215
2013年	96	7,800	26,812	41,410	47,022	33,123	13,056	413	169,732
2014年	848	6,387	22,539	34,613	38,966	27,234	9,180	146	139,913
2015年	538	10,599	20,535	32,780	39,162	29,277	7,285	316	140,492
2016年	205	9,182	20,325	32,001	31,361	21,725	7,068	143	122,010
2017年	864	12,756	21,834	32,305	37,863	21,229	10,024	45	136,920
2018年	1,287	10,187	20,485	28,273	34,068	15,611	8,162	0	118,073
2019年	5,081	13,685	24,664	33,165	35,769	22,290	7,730	0	142,384
2020年	0	0	527	8,074	16,940	14,257	9,295	305	49,398
2021年	177	1,105	2,409	11,318	14,268	6,755	6,452	671	43,155
利用者数合計 前年比	－	－	457%	140%	84%	47%	69%	220%	87%
入込数合計 過年平均比(2012～2016)	16%	7%	6%	19%	21%	14%	41%	176%	17%

○羅臼町

表2 羅臼地区観光船利用者数の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
2012年	28	2395	591	238	854	1,371	2,617	5,011	1,744	490	0	15,339
2013年	42	3221	665	108	656	1,172	2,443	4,621	1,525	270	43	14,766
2014年	0	1988	492	92	1,281	2,603	4,259	7,011	2,480	397	24	20,627
2015年	57	3505	734	42	1,560	3,147	5,367	6,739	2,659	175	0	23,985
2016年	103	4001	833	25	1,853	3,838	5,199	5,258	2,057	254	0	23,421
2017年	108	4687	1530	127	3,213	3,664	5,500	8,194	2,165	539	20	29,747
2018年	275	6263	1271	379	3,699	3,519	5,964	8,476	2,985	559	15	33,405
2019年	246	7668	1327	1,181	4,463	6,239	6,518	6,029	3,180	438	0	37,289
2020年	323	7334	841	0	0	1,745	2,981	4,402	2,695	691	0	21,012
2021年	0	1,282	314	97	1,718	3,592	6,768	5,414	1,570	566	0	21,321
利用者数合計 前年比	0%	17%	37%	－	－	206%	227%	123%	58%	82%	－	101%
入込数合計 過年平均比(2012～2016)	0%	42%	47%	96%	138%	148%	170%	95%	75%	178%	0%	109%

出典：環境省「令和3年度知床国立公園適正利用等検討業務報告書」

○観光船利用者数（斜里町、羅臼町）

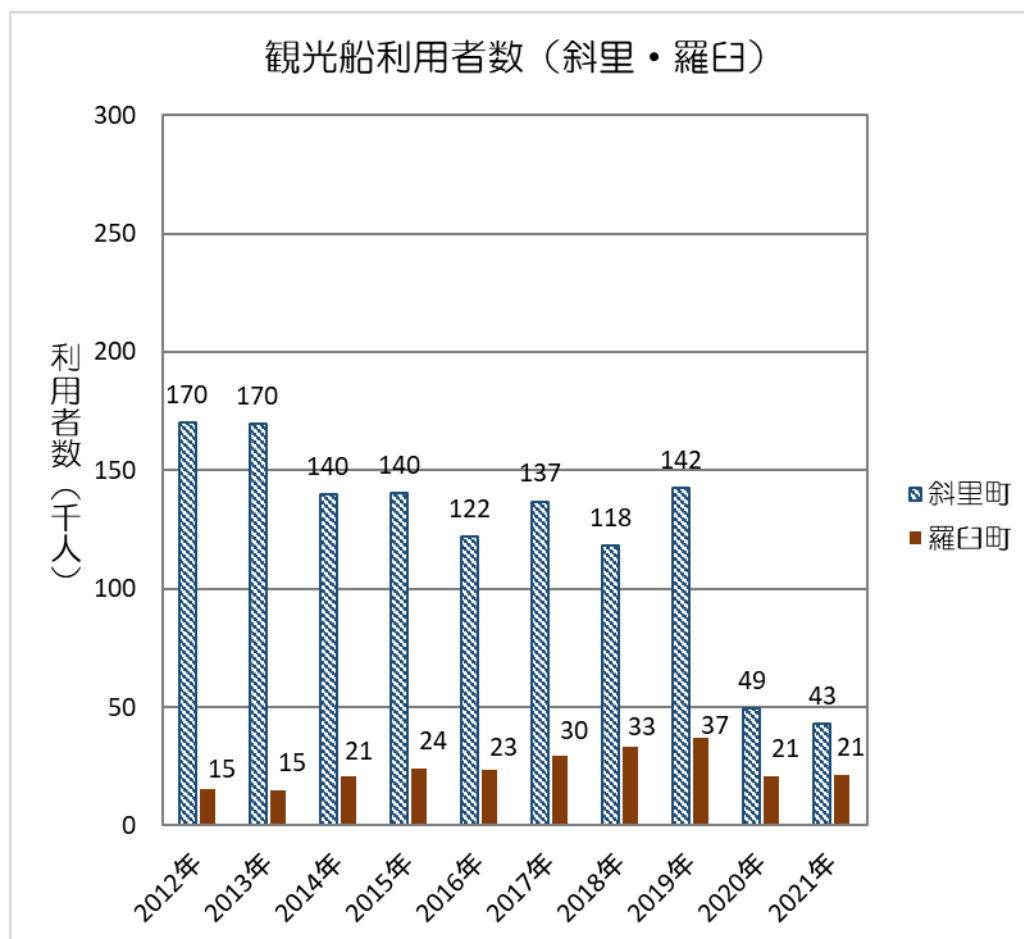


図1 観光船利用者数の推移（斜里町・羅臼町）

[主な利用状況]

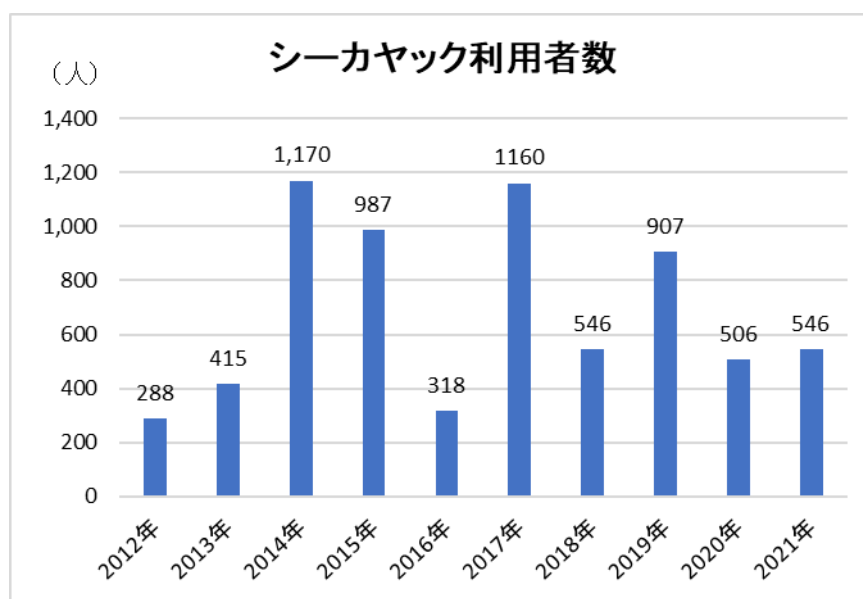


図2 シーカヤック利用者数の推移

出典：環境省「令和3年度知床国立公園適正利用等検討業務報告書」

表3 羅臼側の渡船による釣り利用者数

	船渡場所	人数	合計人数	前年比
2012年	モイレウシ	336	801	88%
	ペキン浜	306		
	二本滝	96		
	クズレ滝	63		
2013年	モイレウシ	246	829	103%
	ペキン浜	374		
	二本滝	139		
	クズレ滝	70		
2014年	モイレウシ	193	520	63%
	ペキン浜	202		
	二本滝	88		
	クズレ滝	37		
2015年	モイレウシ	186	759	146%
	ペキン浜	395		
	二本滝	104		
	クズレ滝	74		
2016年	モイレウシ	166	486	64%
	ペキン浜	218		
	二本滝	61		
	クズレ滝	41		
2017年	モイレウシ	174	719	148%
	ペキン浜	292		
	二本滝	173		
	クズレ滝	80		
2018年	モイレウシ	388	842	117%
	ペキン浜	331		
	二本滝	98		
	クズレ滝	25		
2019年	モイレウシ	347	750	89%
	ペキン浜	291		
	二本滝	100		
	クズレ滝	12		
2020年	モイレウシ	422	854	114%
	ペキン浜	217		
	二本滝	179		
	クズレ滝	36		
2021年	モイレウシ	434	1044	122%
	ペキン浜	296		
	二本滝	281		
	クズレ滝	33		

出典：環境省「令和3年度知床国立公園適正利用等検討業務報告書」

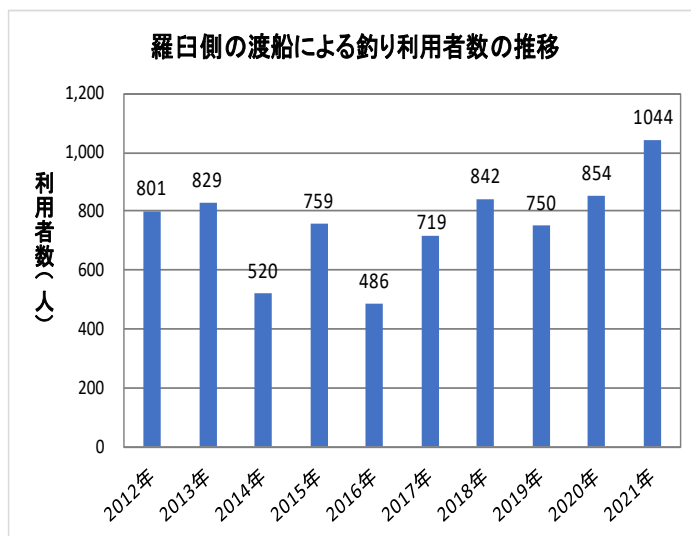


図3 羅臼側の渡船による釣り利用者数の推移

出典：環境省「令和3年度知床国立公園適正利用等検討業務報告書」

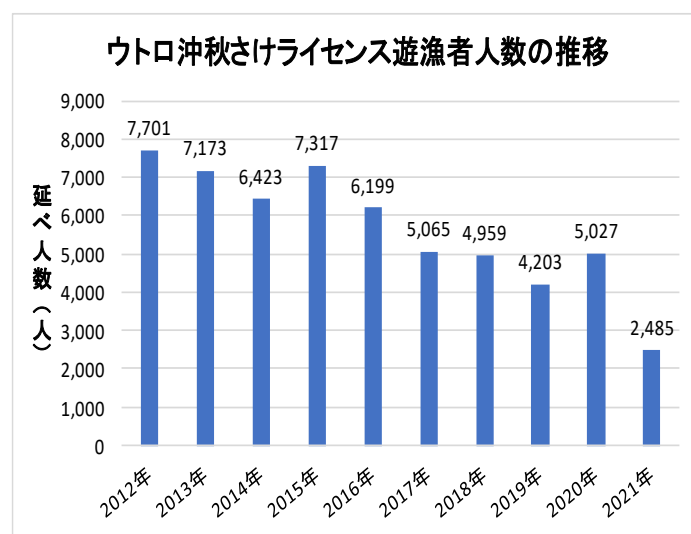


図4 ウトロ沖秋さけライセンス遊漁者人数の推移

作図データ出典：網走海区漁業調整委員会事務局

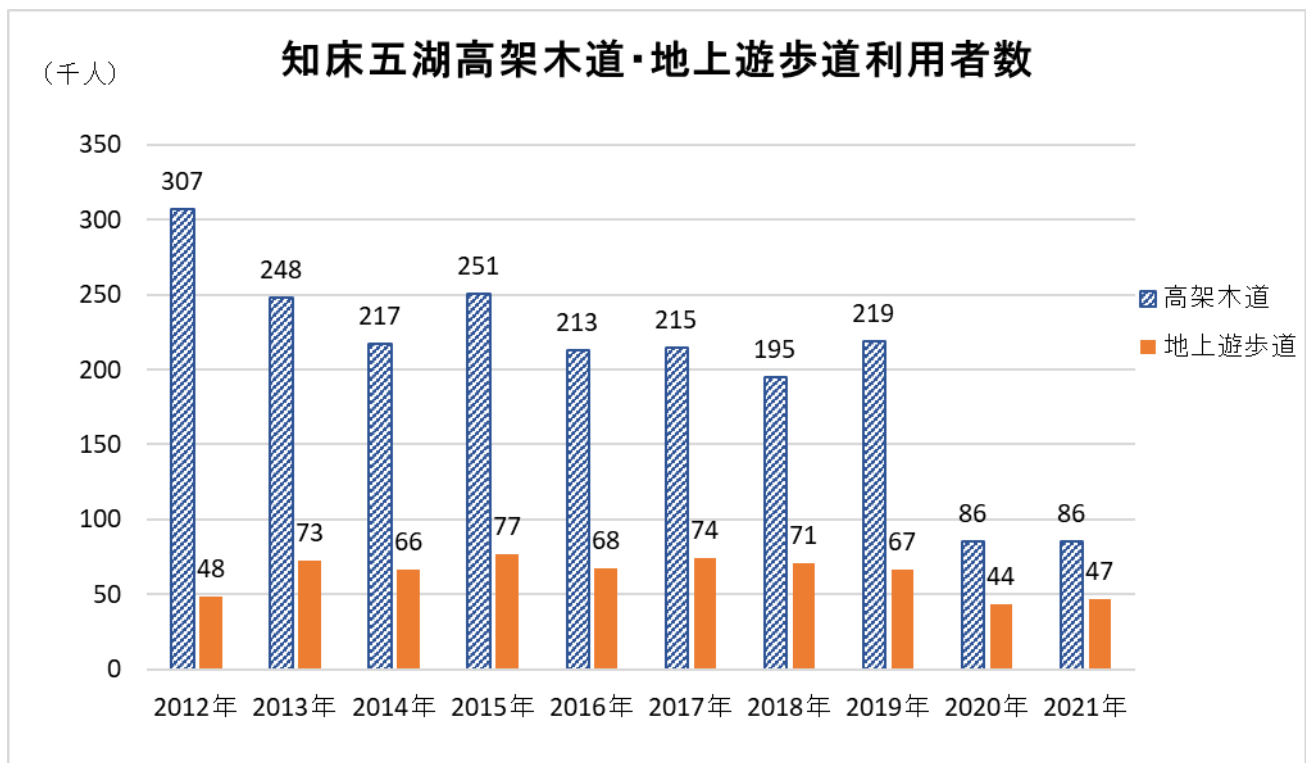


図5 知床五湖高架木道・地上遊歩道利用者数の推移

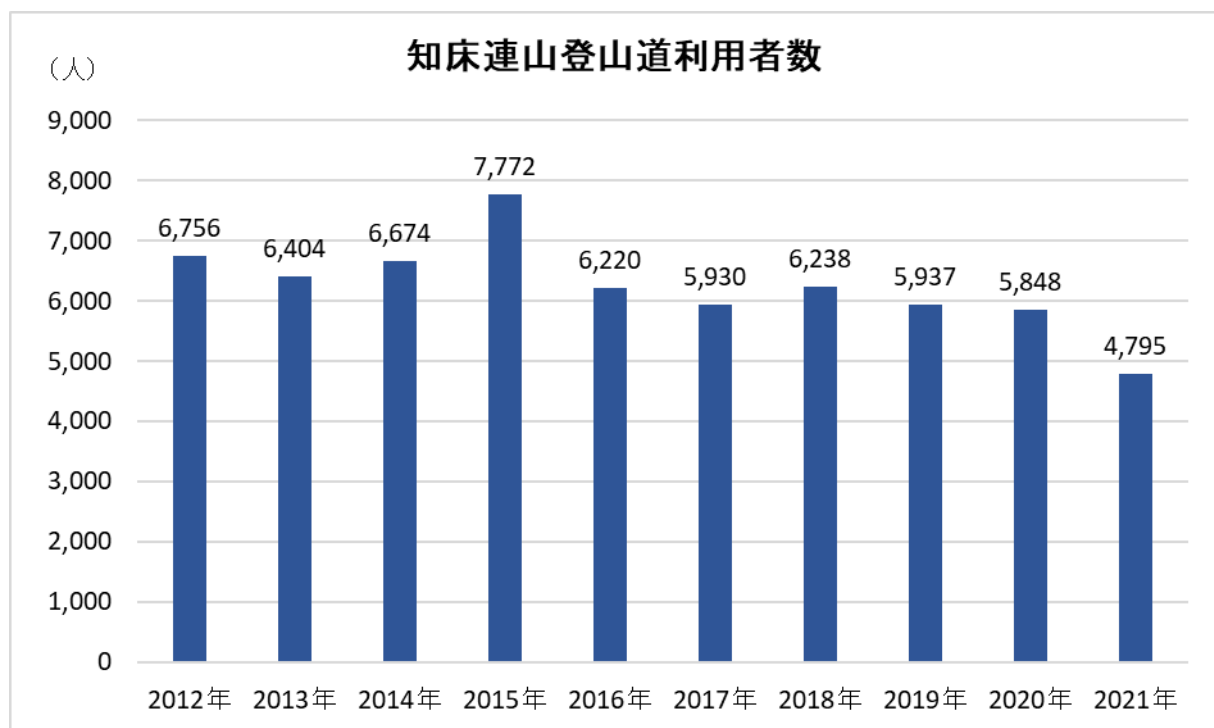


図6 知床連山登山道利用者数の推移

出典：環境省「令和3年度知床国立公園適正利用等検討業務報告書」

分類	モニタリング調査	調査実施主体
⑤地域社会	斜里町各会計予算執行等の説明書	斜里町
	羅臼町資料編	羅臼町

[町税収入額]

○斜里町

表 1 町税収入額の推移（斜里町）

(百万円)										
区分	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
町民税	979.6	959.3	932.1	922.8	936.5	936.6	977.1	953.4	927.7	831.5
固定資産税	776.3	749.7	751.1	775.6	745.8	746.7	790.4	808.7	728.3	751.3
その他の税	272.1	286.0	277.8	299.4	282.6	275.5	271.4	273.8	242.5	241.6
計	2,028.0	1,995.0	1,961.0	1,977.8	1,964.9	1,958.8	2,038.9	2,035.9	1,898.5	1,824.4

出典：斜里町各会計予算執行等の説明書

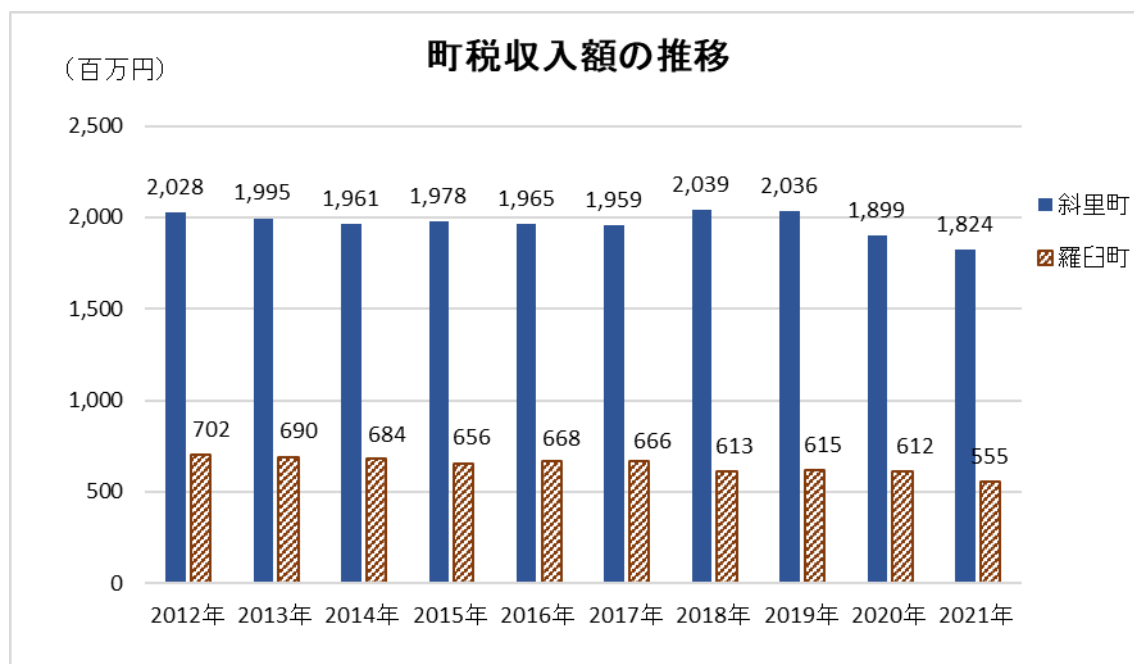
○羅臼町

表 2 町税収入額の推移（羅臼町）

(百万円)										
区分	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
町民税	375	355	353	334	336	335	307	310	311	276
固定資産税	245	244	244	237	248	251	227	226	223	197
その他の税	83	91	87	85	84	80	79	79	78	82
計	702	690	684	656	668	666	613	615	612	555

出典：令和 3 年度（2021 年度）羅臼町資料編

図 1 町税収入額の推移（斜里町・羅臼町）



分類	モニタリング調査	調査実施主体
⑤地域社会	斜里町分野別統計書	斜里町
	令和2年度（2020年度）羅臼町資料編	羅臼町

[児童・生徒数の推移]

○斜里町

表1 斜里町 児童・生徒数の推移

	小学校		
	学校数	学級数	児童数
平成24(2012)年	7	43	588
平成25(2013)年	7	44	574
平成26(2014)年	6	41	558
平成27(2015)年	6	42	568
平成28(2016)年	2	27	509
平成29(2017)年	2	26	498
平成30(2018)年	2	27	527
令和元(2019)年	2	27	521
令和2(2020)年	2	30	524
令和3(2021)年	2	30	496

○羅臼町

表2 羅臼町 児童・生徒数の推移

	小学校		
	学校数	学級数	児童数
平成24(2012)年	2	17	329
平成25(2013)年	2	17	309
平成26(2014)年	2	17	289
平成27(2015)年	2	17	272
平成28(2016)年	2	18	244
平成29(2017)年	2	17	238
平成30(2018)年	2	17	243
令和元(2019)年	2	19	243
令和2(2020)年	2	19	230
令和3(2021)年	2	20	214

	中学校		
	学校数	学級数	生徒数
平成24(2012)年	2	14	321
平成25(2013)年	2	15	309
平成26(2014)年	2	14	295
平成27(2015)年	2	15	274
平成28(2016)年	1	11	235
平成29(2017)年	1	13	258
平成30(2018)年	1	13	252
令和元(2019)年	1	13	257
令和2(2020)年	1	11	237
令和3(2021)年	1	11	249

	中学校		
	学校数	学級数	生徒数
平成24(2012)年	2	11	177
平成25(2013)年	2	10	150
平成26(2014)年	2	10	171
平成27(2015)年	2	10	156
平成28(2016)年	2	10	167
平成29(2017)年	2	10	160
平成30(2018)年	1	8	148
令和元(2019)年	1	7	121
令和2(2020)年	1	7	112
令和3(2021)年	1	5	114

	高等学校	
	学校数	生徒数
平成24(2012)年	1	255
平成25(2013)年	1	243
平成26(2014)年	1	225
平成27(2015)年	1	206
平成28(2016)年	1	186
平成29(2017)年	1	159
平成30(2018)年	1	132
令和元(2019)年	1	118
令和2(2020)年	1	108
令和3(2021)年	1	95

	高等学校	
	学校数	生徒数
平成24(2012)年	1	142
平成25(2013)年	1	127
平成26(2014)年	1	107
平成27(2015)年	1	113
平成28(2016)年	1	96
平成29(2017)年	1	107
平成30(2018)年	1	97
令和元(2019)年	1	95
令和2(2020)年	1	104
令和3(2021)年	1	78

出典：斜里町分野別統計書

出典：令和3年度羅臼町資料編

[指定文化財]

○斜里町

表 3 指定文化財（斜里町）

名称	指定年月日
チャシコツ岬上遺跡	H31.2.26
旧斜里神社拝殿	S51.11.8
朱円竪穴住居跡群	S42.6.22
斜里朱円周堤墓	S32.1.29
斜里朱円周堤墓出土建物	H25.3.29
オシュンクシュン粗粒玄武岩	S48.3.14
斜里海岸の草原群落	S25.8.28
津軽藩士シャリ陣屋跡	S62.7.1
津軽藩士墓所跡	S62.7.1
シャリ運上屋(会所)跡	S62.7.1
来運1遺跡	H24.8.29
絵馬	S51.11.8
歌枕額	S51.11.8
斜里神社石灯籠	H15.3.26
津軽藩士死没者の供養碑	S57.7.1
津軽藩士死没者の過去帳	S57.7.1
旧国鉄線根北線越川橋梁	H10.7.23

出典：斜里町分野別統計書

○羅臼町

表 4 指定文化財（羅臼町）

名称	指定年月日
旧植別神社跡	S48.5.1
久右衛門の澗跡	S48.5.1
知床いぶき樽	H3.5.1
弘化の釣鐘	H25.12.1
羅臼のひかりごけ	S38.12.24
羅臼の間歇泉	S43.3.19
北海道松法川北岸遺跡出土品	H27.9.4

出典：令和 3 年度羅臼町資料編

(参考)

[主な地域の祭り]

○斜里町

表 5 主な祭り（斜里町）

名称	開催時期
羅臼岳山開き	7月
しれとこ斜里ねぶた	7月
しれとこ産業まつり	9月

出典：斜里町ホームページ

○羅臼町

表 6 主な祭り（羅臼町）

名称	開催時期
らうすオジロまつり	2月
知床雪壁ウォーク	4月
知床開き	6月
羅臼神社祭	7月
らうす産業祭漁火まつり	9月

出典：羅臼町ホームページ

分類	モニタリング調査	調査実施主体
⑤ 地域社会	令和4年度知床世界遺産施設等運営協議会総会資料	環境省

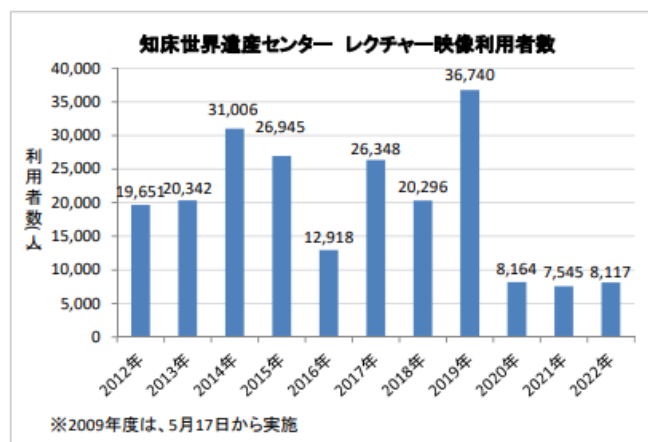


図1 知床遺産センターレクチャー映像利用者数

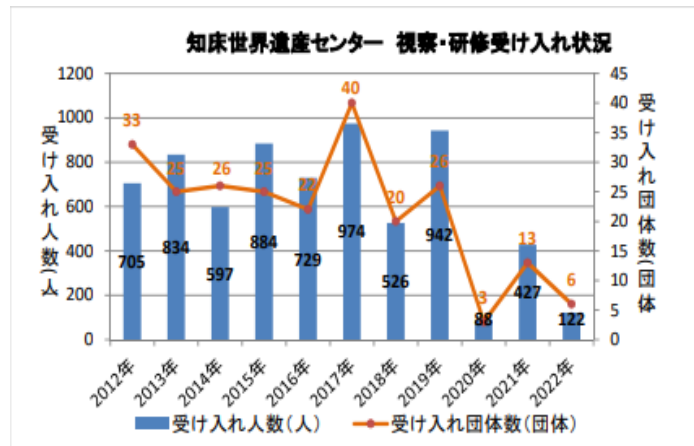


図2 知床遺産センター視察・研修受け入れ状況の推移

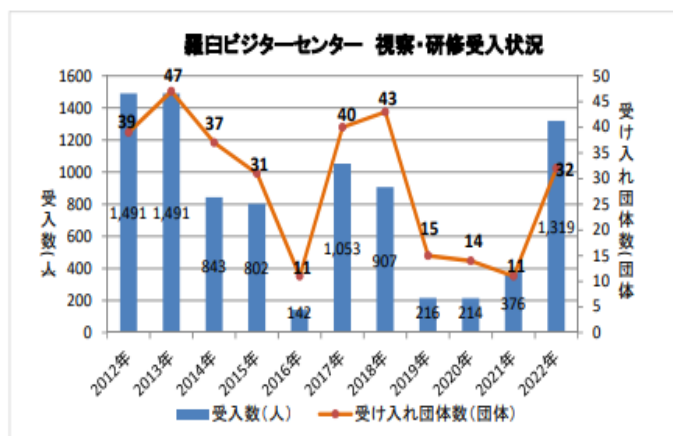


図3 羅臼ビジターセンター視察・研修受入状況

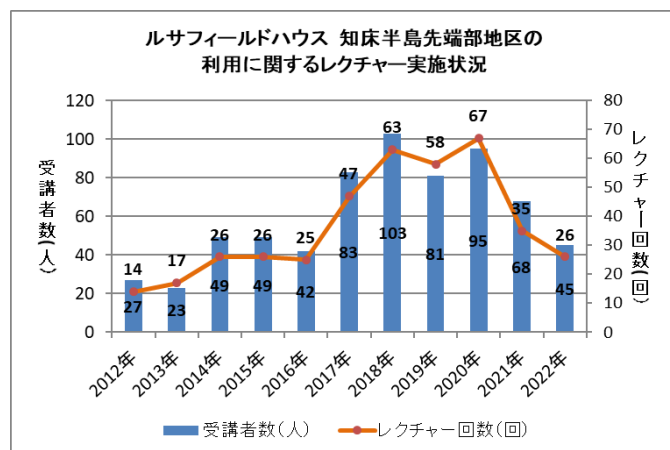


図4 知床世界遺産ルサフィールドハウス知床半島先端部地区利用に関するレクチャー実施状況

作図データ出典：令和4年度知床世界遺産施設等運営協議会総会資料

分類	モニタリング調査	調査実施主体
⑥ 地域社会	知床世界自然遺産地域における 住民向け普及啓発講座開催補助業務報告書	環境省

表1 地域住民を対象とした講座の開催状況（環境省主催）

年度	開催日	開催地	テーマ	参加人数
R3	開催なし			
R2				
R1	10月5日	斜里町	しれとこ住民講座「チャシコツ岬上遺跡を見に行こう！」	5
	11月10日	羅臼町	しれとこ住民講座「めざせ！ Dr.シマフクロウ」	24
	12月1日	羅臼町	しれとこ住民講座「海ワシと共生するために」	33
	12月17日	斜里町	しれとこ住民講座「知床の魅力再発見と観光の将来」	25
H30	9月30日	斜里町、羅臼町	しれとこ住民講座「知床岬deグリーン大作戦」	21
	11月13日	斜里町	しれとこ住民講座「エゾシカ料理教室」	17
	1月27日	羅臼町	しれとこ住民講座「グレートジャーニーと知床」	58
H29	7月23日	羅臼町	しれとこ住民講座「シーカヤックの魅力とリスク」	30
	8月19日	斜里町	しれとこ住民講座「集まれ！ オニアザミバスターズ」	8
	9月30日	斜里町	しれとこ住民講座「ぶらゴウチ 知床誕生のナゾを解く」	17
	12月9日	羅臼町	しれとこ住民講座「土器の時代からチャシの時代へ」	26
H28	1月28日	羅臼町	しれとこ住民講座「流氷がもたらす恵みと災害」	18
	1月29日	斜里町	しれとこ住民講座「流氷を通じて学ぶ地球環境と地域防災」	33
	2月5日	斜里町	しれとこ住民講座「宇登呂灯台から見下ろす“凍る海”」	24
	2月7日	羅臼町	しれとこ住民講座「増えすぎたシカたちの管理と有効活用 エゾシカ料理教室」	14
H27	2月8日	羅臼町	しれとこ住民講座「おいしきは幻からレジェンドへ！『ラウスブドウエビ』誕生！ ～すごいぞ！ 羅臼の生き物たち～」	23
	2月9日	羅臼町	しれとこ住民講座「おいしきは幻からレジェンドへ！『ラウスブドウエビ』誕生！ ～すごいぞ！ 羅臼の生き物たち～」	41
	2月9日	斜里町	しれとこ住民講座「カラフトマスはオホーツク海を見放すのか？」	41
	2月16日	斜里町	しれとこ住民講座「関サバがライバル！？カラフトマスをフレンチで」	12
H26	11月1日	斜里町	知床国立公園指定51周年記念シンポジウム～世界に誇る真の「SHIRETOKO」へ。その魅力と可能性に迫る。	
H25	10月27日	羅臼町	らうす自然講座「シマフクロウを語る」	22
	11月24日	羅臼町	第1回しれとこ科学教室「オジロの話～ワシたちの一年～」	34
	12月6日	斜里町	第2回しれとこ科学教室「増えすぎたシカたちの管理と有効活用① ニホンジカの今 ～保護管理の体制づくり～」	17
	12月8日	羅臼町	オオワシとの共存を目指して～北海道とサハリンにおけるオオワシの現状と課題～	25
	1月14日	斜里町	増えすぎたシカたちの管理と有効活用② 「意外とイケる！ エゾシカは北海道の資源となりうるか？」	30
	1月28日	斜里町	増えすぎたシカたちの管理と有効活用③ 「エゾシカ料理教室」	23
H24	7月28日	羅臼町、斜里町	知床岬で外来種根絶作戦！	16
	10月14日	羅臼町	らうす自然講座 第1回「ルサ川のはなし」	25
	10月23日	斜里町	第1回しれとこ科学教室「渡島半島での試行から学ぶ北海道のヒグマ保護管理」	49
	10月30日	斜里町	しれとこ住民講座「現在・過去・未来、ここまでわかった知床のヒグマ」	47
	11月6日	斜里町	しれとこ住民講座「ヒグマ対応最前線－2012－」	34
	11月11日	羅臼町	らうす自然講座 第2回「羅臼岳の希少植物」	18
	12月8日	羅臼町	第2回しれとこ科学教室「観光客の皆さんが知床に求めるものとは？～経済学の視点から～」	18
	2月23日	羅臼町	らうす自然講座 第3回「冬の羅臼で観察できる海辺の鳥」	17
H23	7月25日	羅臼町	第1回しれとこ科学教室「根室海峡のスケソウダマ ～これまで、今、そしてこれから～ 地球温暖化と知床の水産業」	56
	8月17日	斜里町	第2回しれとこ科学教室「シカが知床の風景を変える～エゾシカの急増と植生への影響～」	16
	8月20日	斜里町	行けるようになりました 硫黄山－新噴火口 魅力再発見！	15
	8月27日	羅臼町	らうす自然講座 第1回「のぞいてみよう！ 羅臼のみなと」	17
	9月10日	羅臼町	知床岬での外来種根絶作戦	4
	9月17日	羅臼町	らうす自然講座 第2回「みんなで調査！ らうすの磯の生き物たち」	7
	10月15日	斜里町	第3回しれとこ科学教室「海と森のつながりを取り戻せ！ ～魚から見たよい川とは？～」	13
	10月16日	羅臼町	らうす自然講座 第3回「のんびり歩く秋の道」	4
	1月28日	羅臼町	らうす自然講座 第4回「シカのワナって知ってる？～見てみよう！ 作ってみよう！～」	8
	2月25日	斜里町	知床国立公園におけるエゾシカ管理の現場をのぞいてみよう！ 散策会	15
H22	5月17日	羅臼町	森づくりの現場から@SHIRETOKO	20
	9月25日	羅臼町	根室海峡のクジラ・イルカ ～わたしはどこから来て、何をして、どこへ行くのか～	58
	10月14日	羅臼町	北方四島と知床 ～開発の現状と将来に向けて～	21
	12月16日	斜里町	使って守る地域資源戦略のための専門家	38
	3月3日	羅臼町	持続的漁業は知床そして地球を守る	30

出典： 知床世界自然遺産地域における住民向け普及啓発講座開催補助業務報告書

分類	参考資料	実施主体
⑤地域社会	世界自然遺産・知床の日の取組	北海道

令和3年度「世界自然遺産・知床の日」の取組について

	事業	内容	期間	備考
記念行事	道民カレッジ連携講座 「しれとこ大百科」	活動発表 「未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞」受賞者 講演（講師：写真家 石川直樹氏） 「知床半島～人と自然との出会い～」 ※パネル展示のみ実施	－	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
地域の事業	知床の日パネル展 道庁本庁舎 オホーツク総合振興局 オホーツク総合振興局知床分室 根室振興局	知床の日、知床世界自然遺産の価値に関するパネル展示	1/17 ～ 1/28 1/24 ～ 1/28 1/24 ～ 1/30 1/24 ～ 1/28	
	小学校での知床の日紹介 （網走市ほか6町）	知床の日、知床世界自然遺産の価値に関する資料配付	1/28	
	講演会	知床の流氷から地球環境を考える 温暖化防止のために私たちができること	－	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	オホーツクフェア	知床の日、知床世界自然遺産の価値に関するパネル展示	－	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	遺産センターInstagramライブ配信 環境省ウトロ自然保護官事務所 オホーツク総合振興局知床分室 公園財団	知床の日の設定経緯や遺産知床世界自然遺産の価値、リアルタイム流氷情報についての情報発信とマナーの普及啓発	1/30	
	SNSでの知床の日紹介 羅臼町	知床の日の設定経緯等を羅臼町のFacebook、Instagramにて紹介。	1/30	
PR事業	日本郵便北海道支社	知床に関するDVDの放映、啓発物品の配布	1/18 ～ 2/10	
	デジタルサイネージ放映	25郵便局でのポスター掲示		
	(株)三省堂書店札幌店	知床関連書籍コーナーの設置	1/18 ～ 1/31	
	知床ブックフェア	啓発物品の配布、ポスター掲示		
	(株)紀伊國屋書店 ヒグマフォーラム	知床から学ぶヒグマとのお付き合い ※パネル展示、啓発物品の配布のみ実施	－	新型コロナウイルス感染症対策のため中止